# 宋祠导读作品选

2025 年春季学期

害五代词选	1
敦煌曲子词	1
凤归云 (征夫数载) 菩萨蛮 (枕前发尽千般愿)	
定风波 ( 攻书学剑能几何 )	
感皇恩(当今圣寿比南山)         *望江南(天上月)	
李白	3
菩萨蛮(平林漠漠烟如织)	3
张志和	4
渔父(西塞山前白鹭飞)	4
白居易	
*忆江南(江南好)	
<b>刘禹锡</b>	
皇甫松	6
*梦江南(兰烬落) *梦江南(楼上寝)	
温庭筠	7
*菩萨蛮(小山重叠金明灭)* *菩萨蛮(水精帘里颇黎枕) 菩萨蛮(玉楼明月长相忆)	

	更漏子(柳丝长)		. 8
	更漏子(玉炉香)		. 8
	*梦江南(千万恨)		. 8
	梦江南 (梳洗罢)		. 8
╡	5庄		8
	浣溪沙 (夜夜相思更漏残)		. 9
	菩萨蛮(红楼别夜堪惆怅)		. 9
	<u>*</u> 菩萨蛮(人人尽说江南好)		. 9
	*菩萨蛮(劝君今夜须沉醉)		. 9
	思帝乡 (春日游)		. 9
	荷叶杯(记得那年花下)	• •	. 9
甩	夏虔扆	•	10
	临江仙(金锁重门荒苑静)		10
격	■珣	•	10
	巫山一段云(古庙依青嶂)		10
	南乡子(鱼市散)		11
	南乡子(相见处)		11
孙	\光宪	•	11
	浣溪沙(蓼岸风多橘柚香)		11
<u>X</u>	て阳炯	•	12
	江城子(晚日金陵岸草平)		12
	凤楼春(凤髻绿云丛)		12
<u>}</u> [	B延巳	•	12
	<u>*</u> 鹊踏枝 ( 谁道闲情抛掷久 )		13
	<u>*</u> 鹊踏枝 ( 庭院深深深几许 )		13
	临江仙 (秣陵江上多离别)		13
	<u>*</u> 谒金门(风乍起)		13
	长命女(春日宴)		1.3

	*南乡子(细雨湿流光)	14
격	►璟1	I 4
	*摊破浣溪沙(手卷真珠上玉钩)	
君	►煜1	15
	一斛珠(晚妆初过) 子夜歌(人生愁恨何能免) *清平乐(别来春半) 望江南(多少恨) 望江梅(南国远) *浪淘沙(往事只堪哀) 相见欢(林花谢了春红) 乌夜啼(无言独上西楼) *捣练子(深院静) 破阵子(四十年来家国) *浪淘沙(帘外雨潺潺) *虞美人(春花秋月何时了)	16 16 16 16 16 16 17 17
两	宋词选1	9
3	E <b>禹偁 1</b> 点绛唇(雨恨云愁)	
元	<b>選准 1</b> 江南春(波渺渺)	
钅	<b>浅惟演</b>	
泽	<b>播阆</b>	21

林逋	21
相思令(吴山青)	22
点绛唇(金谷年年)	22
范仲淹	23
*苏幕遮(碧云天)	23
*渔家傲 (塞下秋来风景异)	23
剔银灯(昨夜因看蜀志)	24
柳永	24
*雨霖铃 (寒蝉凄切)	24
凤栖梧(伫倚危楼风细细)	25
定风波(自春来)	25
*少年游(长安古道马迟迟)	26
少年游(参差烟树灞陵桥)	26
戚氏 (晚秋天)	26
望海潮(东南形胜)	
玉蝴蝶(望处雨收云断)	27
*八声甘州 (对潇潇暮雨洒江天)	27
安公子(长川波潋滟)	28
醉蓬莱(渐亭皋叶下)	
鹤冲天(黄金榜上)	
张先	29
*一丛花令(伤高怀远几时穷)	29
*天仙子(水调数声持酒听)	30
木兰花(龙头舴艋吴儿竞)	30
青门引(乍暖还轻冷)	31
渔家傲(巴子城头青草暮)	31
碧牡丹(步帐摇红绮)	
晏殊	32
*浣溪沙(一曲新词酒一杯)	

<u>*</u> 浣溪沙(一向年光有限身)	32
蝶恋花(槛菊愁烟兰泣露)	33
<u>*</u> 踏莎行(小径红稀)	33
山亭柳(家住西秦)	33
そ本の	33
玉楼春(东城渐觉风光好)	34
*浪淘沙近(少年不管)	34
<b>で阳修</b>	34
采桑子(群芳过后西湖好)	35
*采桑子(十年前是尊前客)	35
<u>*</u> 朝中措(平山阑槛倚晴空)	35
踏莎行(候馆梅残)	36
生查子(去年元夜时)	36
<u>*</u> 玉楼春 ( 尊前拟把归期说 )	36
<u>*</u> 玉楼春 ( 燕鸿过后春归去 )	36
临江仙(柳外轻雷池上雨)	36
<u>*</u> 临江仙 (记得金銮同唱第)	37
望江南(江南柳)	37
浪淘沙(把酒祝东风)	
· 舜钦	38
*水调歌头(潇洒太湖岸)	38
· E安石	38
桂枝香(登临送目)	39
· - 安国	39
清平乐(留春不住)	39
· 是幾道	40
<u>*</u> 临江仙(梦后楼台高锁)	40
蝶恋花(醉别西楼醒不记)	40

	*蝶恋花(梦入江南烟水路)	41
	*鹧鸪天 (彩袖殷勤捧玉钟)	41
	鹧鸪天 (小令尊前见玉箫)	41
	阮郎归(天边金掌露成霜)	41
Ε	王观 4	42
	卜算子(水是眼波横)	42
릵		42
	<u>*</u> 卖花声(木叶下君山)	42
孙	小浩然 △	43
	离亭燕(一带江山如画)	43
Ε	王诜	43
	忆故人(烛影摇红向夜阑)	43
声	苏轼 ∠	14
	水龙吟(似花还似非花)	44
	*水调歌头(明月几时有)	
	*念奴娇 (大江东去)	
	木兰花令(霜余已失长淮阔)	
	西江月(三过平山堂下)	
	*临江仙(夜饮东坡醒复醉)	46
	少年游(去年相送)	47
	*定风波(莫听穿林打叶声)	47
	*定风波(莫听穿林打叶声) *望江南(春未老)	
	<del>-</del>	47
		47 47
	- *望江南(春未老) *卜算子(缺月挂疏桐)	47 47 48
	*望江南(春未老)	47 47 48 48
	*望江南(春未老) *卜算子(缺月挂疏桐) 江城子(凤凰山下雨初晴) *江城子(十年生死两茫茫)	47 47 48 48
	*望江南(春未老). */ * * * * * * * * * * * * * * * * * *	47 47 48 48 48

	洞仙歌 (冰肌玉骨)		50
	千秋岁(岛边天外)		50
컬	≥之仪		
	卜算子(我住长江头)	•	51
す	度庭坚	5	51
	水调歌头(瑶草一何碧)		52
	清平乐(春归何处)		52
Ę	見端礼	5	52
	<u>*</u> 行香子 (		52
	鹧鸪天(金碧觚棱斗极边)		53
	黄河清 (晴景初升风细细)	•	53
孨	₹观	5	53
	<u>*</u> 望海潮 (梅英疏淡)		54
	八六子(倚危亭)		54
	<u>*</u> 满庭芳(山抹微云)		54
	江城子(西城杨柳弄春柔)		55
	鹊桥仙(纤云弄巧)		55
	浣溪沙(漠漠轻寒上小楼)		55
	*踏莎行(雾失楼台)		55
	好事近(春路雨添花)		56
	<u>*</u> 千秋岁 (水边沙外)		56
クラ	胃铸	5	57
	<u>*</u> 半死桐(重过阊门万事非)		57
	杵声齐(砧面莹)		57
	芳心苦(杨柳回塘)		58
	行路难(缚虎手)		58
	台城游(南国本潇洒)		58
	*横塘路(凌波不过横塘路)		58
	减字浣溪沙 (闲押琵琶旧谱录)		59

中殊 南歌子(十里青山远) 。	60 60 <b>50</b>
「現本之 ( 類色儿(买陂塘) ( 薬州令叠韵(田野闲来惯) ( <b>周邦彦</b> ( 瑞龙吟(章台路) ( 西平乐(稚柳苏晴) ( に旧游(记愁横浅黛) ( 望江南(游妓散) ( 満庭芳(风老莺雏) ( 苏幕遮(燎沉香) ( 解语花(风销焰蜡) ( *六丑(正单衣试酒) ( 拜星月(夜色催更) (	60 <b>60</b>
<b>晁补之</b> 摸鱼儿(买陂塘) 梁州令叠韵(田野闲来惯) <b>周邦彦</b> 瑞龙吟(章台路) 西平乐(稚柳苏晴) 忆旧游(记愁横浅黛) 望江南(游妓散) 满庭芳(风老莺雏) 苏幕遮(燎沉香) 解语花(风销焰蜡) *六丑(正单衣试酒) 拜星月(夜色催更)	50
摸鱼儿(买陂塘)、 梁州令叠韵(田野闲来惯) <b>周邦彦</b> 瑞龙吟(章台路)、 西平乐(稚柳苏晴)、 忆旧游(记愁横浅黛) 望江南(游妓散)、 满庭芳(风老莺雏)、 苏幕遮(燎沉香)、 解语花(风销焰蜡)、 **六丑(正单衣试酒)、 拜星月(夜色催更)	
梁州令叠韵(田野闲来惯) <b>周邦彦</b> 瑞龙吟(章台路)  西平乐(稚柳苏晴) 忆旧游(记愁横浅黛) 望江南(游妓散) 满庭芳(风老莺雏) 苏幕遮(燎沉香) 解语花(风销焰蜡) **六丑(正单衣试酒) 拜星月(夜色催更)	61
周邦彦	$\sim$ $_{\perp}$
瑞龙吟(章台路) 西平乐(稚柳苏晴) 忆旧游(记愁横浅黛) 望江南(游妓散) 满庭芳(风老莺雏) 苏幕遮(燎沉香) 解语花(风销焰蜡) *六丑(正单衣试酒) 拜星月(夜色催更)	
西平乐(稚柳苏晴) 忆旧游(记愁横浅黛) 望江南(游妓散) 满庭芳(风老莺雏) 苏幕遮(燎沉香) 解语花(风销焰蜡) *六丑(正单衣试酒) 拜星月(夜色催更)	51
忆旧游(记愁横浅黛) 望江南(游妓散) 满庭芳(风老莺雏) 苏幕遮(燎沉香) 解语花(风销焰蜡) *六丑(正单衣试酒) 拜星月(夜色催更)	62
望江南(游妓散) 满庭芳(风老莺雏) 苏幕遮(燎沉香) 解语花(风销焰蜡) *六丑(正单衣试酒) 拜星月(夜色催更)	62
满庭芳 (风老莺雏)	63
苏幕遮 (燎沉香)         解语花 (风销焰蜡)         *六丑 (正单衣试酒)         拜星月 (夜色催更)	63
解语花(风销焰蜡)	63
*六丑 (正单衣试酒) 拜星月 (夜色催更)	63
- 拜星月 (夜色催更)	63
	64
风流子 (新绿小池塘)	64
	64
少年游(并刀如水)	64
*兰陵王(柳阴直)	65
西河 (佳丽地)	65
花犯 (粉墙低)	66
谢逸 (	56
江神子(杏花村馆酒旗风)	66
<b>晁冲之</b>	56
临江仙(忆昔西池池上饮)	67
叶梦得	57
八声甘州 ( 故都 栄 岸 草 )	67

万俟咏	68
长相思(一声声)	68
木兰花慢(恨莺花渐老)	68
朱敦儒	68
鹧鸪天(我是清都山水郎)	69
朝中措(先生筇杖是生涯)	69
西江月(世事短如春梦)	69
<u>*</u> 西江月 (日日深杯酒满)	69
相见欢(金陵城上西楼)	69
赵佶	69
燕山亭 (裁翦冰绡)	70
李清照	70
*南歌子(天上星河转)	70
如梦令(昨夜雨疏风骤)	
如梦令(常记溪亭日暮)	
*渔家傲(天接云涛连晓雾)	
*凤凰台上忆吹箫(香冷金猊)	
一剪梅(红藕香残玉簟秋)	
醉花阴(薄雾浓云愁永昼)	
永遇乐(落日熔金)	
声声慢(寻寻觅觅)	
吕本中	72
采桑子(恨君不似江楼月)	72
南歌子(驿路侵斜月)	
陈与义	73
<u>*</u> 临江仙 (忆昔午桥桥上饮)	73
张元幹	73

	* 贺新郎 ( 梦绕神州路 )	
튭	岳飞 7	74
	*小重山(昨夜寒蛩不住鸣)         *满江红(怒发冲冠)         满江红(遥望中原)	75
βi	击游 7	75
	南乡子(归梦寄吴樯) 钗头凤(红酥手) 卜算子(驿外断桥边) *_诉衷情(当年万里觅封侯)	76 77
刻	<b>直成大 7</b>	77
	南柯子(怅望梅花驿)	78
릵	<b>长孝祥 7</b>	78
	六州歌头(长淮望断)	
큭	辛弃疾	79
	*摸鱼儿(更能消)	80 81
	*青玉案 (	82 82
	清平乐(绕床饥鼠) 西江月(明月别枝惊鹊) *贺新郎(绿树听鹈鴂)	82

	粉蝶儿(昨夜春如十三女儿学绣)	
	破阵子(醉里挑灯看剑)	
	*鹧鸪天(壮岁旌旗拥万夫)	
	*水遇乐 (千古江山)	84
<u> </u>	练亮	84
	水调歌头(不见南师久)	85
文	<b>引过</b>	85
	<b>*</b> 糖多令(芦叶满汀洲)	85
妻	<b>美夔</b>	86
	点绛唇(燕雁无心)	86
	踏莎行(燕燕轻盈) *******************************	
	扬州慢(淮左名都)	86
	<u>*</u> 暗香 (旧时月色)	87
	*疏影 ( 苔枝缀玉 )	87
	淡黄柳(空城晓角)	87
	鹧鸪天(巷陌风光纵赏时)	87
보	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	88
-	双双燕 (过春社了)	22
	<b>双双热(总督任丁)</b>	00
5	美文英英文	88
	唐多令(何处合成愁)	88
	<u>*</u> 浣溪沙(门隔花深梦旧游)	89
	风入松 (听风听雨过清明)	89
	莺啼序 (残寒正欺病酒)	89
	*霜叶飞(断烟离绪)	89
	八声甘州 (渺空烟四远)	
文	训辰翁	90
	柳梢青(铁马蒙毡)	
	永 馮 兵 ( 辟 日 初 時 )	

	贸新郎(少日都门路)	91
居	· 密	. 91
	木兰花慢(晴空摇翠浪)	91
	玉京秋 (烟水阔)	92
	- 萼红(步深幽)	
文	天祥	. 92
	· 蔣江月 (乾坤能大)	93
Ξ	沂孙	. 93
	冒妩 (渐新痕悬柳)	93
	齐天乐(一襟余恨宫魂断)	
将	捷	. 94
	贺新郎 (深阁帘垂绣)	94
	女冠子(蕙花香也)	94
	每花引 (白鸥问我泊孤舟)	94
	一剪梅(一片春愁待酒浇)	95
	:虞美人(少年听雨歌楼上)	95
	少年游(枫林红透晚烟青)	95
引	炎	. 95
	有浦 (波暖绿粼粼)	96
	高阳台 (接叶巢莺)	
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
	青平乐 (候蛩凄断)	
无	名氏	. 97
	九张机(四张机)	97
	青玉案 ( 钉 鞋 踏 破 祥 符 路 )	
	K 调歌头 (平生太湖上)	
	· / · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
	与玉峯(年年社日停针线)	98

# 唐五代词选

# 敦煌曲子词

清光绪二十五年(1899),甘肃敦煌莫高窟藏经洞被道士王圆箓发现,洞内藏有大量唐五代人手写抄卷,后世称之为敦煌遗书。敦煌遗书的内容极为丰富,其间包括了数百首曲子词,统称为敦煌曲子词。敦煌曲子词绝大多数是唐人作品,一些词作甚至写于唐玄宗开元(714-741)年间,主要作者则是世俗民众,其间也不乏出自文人的手笔,使得敦煌曲子词题材多样、语言通俗,较为全面地反映了中晚唐广阔的社会生活,保存了词体文学在源起之初的样态。此外,敦煌遗书中还保存了一部完整的曲子词选集《云谣集杂曲子》,共收录曲子词三十首,是现存最早的词选。

#### 凤归云

闺怨

征夫数载, 萍寄他邦。去便无消息, 累换星霜。月下愁听砧杵, 拟塞雁行。 孤眠鸾帐里, 枉劳魂梦, 夜夜飞飏。 想君薄行, 更不思量。谁为传书 与,表妾衷肠。倚牖无言垂血泪, 闇祝三光。万般无那处, 一炉香尽, 又更 添香。

[飞飏]:即"飞扬",飘扬、飘荡。

[闇祝三光]: 闇即暗,心中默默之貌。祝,祈祷。三光,指日月星。 班固《白虎通·封公侯》:"天有三光日月星,地有三形高下平。" [无那]:即无奈,唐宋习语。

## 菩萨蛮

枕前发尽千般愿。要休且待青山烂。水面上秤锤浮。直待黄河彻底 枯。 白日参辰现。北斗回南面。休即未能休。且待三更见日头。 [参辰]:参宿与心宿,二宿于星空中此出彼没,无法相会。

#### 定风波

攻书学剑能几何。争如沙塞骋偻罗。手执六寻枪似铁。明月。龙泉三尺斩新磨。 堪羡昔时军伍。谩夸儒士德能康。四塞忽闻狼烟起。问儒士。谁 人敢去定风波。。

#### 又

征复偻罗未是功。儒士偻罗转更加。三尺张良非耎弱。谋略。汉兴楚灭本由他。 项羽翘据无路。酒后难消一曲歌。霸王虞姬皆自刎。当本。便知儒士定风波。

[攻书学剑]:《史记·司马相如列传》:"司马相如者,蜀郡成都人也,字长卿。少时好读书,学击剑,故其亲名之曰犬子。相如既学,慕蔺相如之为人,更名相如。"

[争如]: 即"怎如"。

[偻罗]: 聪明伶俐, 机灵能干。

[谩夸]:空自夸赞。戴叔伦《塞上曲》:"汉祖谩夸娄敬策,却将公主嫁单于。"

[转更加]:转,反而。转更加,反而超越其上。

[三尺张良]:《史记·留侯世家赞》:"上曰:'夫运筹策帷帐之中, 决胜千里外,吾不如子房。'余以为其人计魁梧奇伟,至见其图, 状貌如妇人好女。盖孔子曰:'以貌取人,失之子羽。'留侯亦 云。"奕:同"懦",耎弱即懦弱。

[恶弱]: 粗劣,不中用。

[当本]:原本。

# 感皇恩

当今圣寿比南山。金枝玉叶尽相连。百僚卿相列排班。呼万岁,尽在玉阶前。 金殿悦龙颜。祥云驾喜悦,两盘旋。休将舜日比尧年。人安泰,争似圣明天。

## 望江南

天上月, 遥望似一团银。夜久更阑风渐紧。为奴吹散月边云。照见负心人。

# 李白

李白(701-762),字太白,号青莲居士。祖籍陇西成纪(今甘肃秦安东),生于碎叶,五岁时随父迁居绵州昌隆(今四川江油)青莲乡。白十岁通《诗》《书》,观百家,长而倜傥,纵横任侠,轻财重施,出游各地。玄宗天宝元年(741)以道士吴筠荐征赴京,贺知章叹为"谪仙人",遂供奉翰林,然不足两年,为权贵谗毁,天宝三载自请放还,受道箓,再次漫游。安史乱中,避地庐山,入永王李璘幕府,因璘败牵累,流放夜郎,中途遇赦东还,流寓宣城、历阳一带。上元二年(761),李光弼率军北上击史朝义叛军,白自请缨,半道病还,次年逝于当涂。有《李太白集》。《尊前集》录其词十二首,后人多置疑问。

## 菩萨蛮

平林漠漠烟如织。寒山一带伤心碧。暝色入高楼。有人楼上愁。 玉阶空 伫立。宿鸟归飞急。何处是归程。长亭连短亭。

[暝色]: 沉沉之暮色。

[宿鸟]:归巢之鸟。

#### 【附录】

文莹《湘山野录》卷上:"此词不知何人写在鼎州(今湖南常德)沧水驿楼,复不知何人所撰。魏道辅泰见而爱之。后至长沙,得古集于子宣内翰家,乃知李白所作。"

# 忆秦娥

箫声咽。秦娥梦断秦楼月。秦楼月。年年柳色。灞桥伤别。 乐游原上清秋节。咸阳古道音尘绝。音尘绝。西风残照,汉家陵阙。

[秦娥]:《列仙传》卷上"萧史":" 萧史者,秦穆公时人也,善吹箫,能致孔雀白鹤于庭。穆公有女字弄玉,好之。公遂以女妻焉,日数弄玉作凤鸣,居数年,吹似凤声,凤凰来止其屋。公为作凤台。夫归止其上,不下数年,一旦皆偕随凤凰飞去。故秦人留作凤女祠于雍,宫中时有箫声而已。"

[灞桥]:本作"霸桥",在霸水之上。《三辅黄图·桥》:"霸桥,在 长安东,跨水作桥。汉人送客至此桥,折柳赠别。"汉文帝陵即在 近旁,故名霸陵,后亦称灞陵,于诗词中与灞桥同类。 [乐游原]: 古苑名。故址在今西安南郊, 因地势较高, 可俯瞰长安, 故以原称之。本为秦时宜春苑, 汉宣帝时改建乐游苑。唐时为长安 士女游赏的胜地。

#### 【附录】

邵博《邵氏闻见后录》卷十九: "'箫声咽……。'李太白词也。予尝秋日饯客咸阳宝钗楼上,汉诸陵在晚照中,有歌此词者,一坐凄然而罢。"

黄昇《花庵词选》卷一:"二词(即《菩萨蛮》《忆秦娥》)为百 代词曲之祖。"

王国维《人间词话》:"太白纯以气象胜。'西风残照,汉家陵阙。'寥寥八字,遂关千古登临之口。"

#### 菩萨蛮

禁庭春昼。莺羽披新绣。百草巧求花下鬥。只赌珠玑满斗。 日晚却理残 妆。御前闲舞霓裳。谁道腰肢窈窕。折旋消得君王。

# 张志和

张志和(?—774),本名龟龄,字子同。婺州(今浙江金华)人。唐肃宗时待诏翰林,后因事被贬,绝意仕进,扁舟隐居江湖间,自谓烟波钓徒,号玄真子。大历八年(773)颜真卿为湖州刺史,志和浮家泛宅,往来苕、霅间,作《渔歌》五首,并自画之。后传入日本,嵯峨天皇于弘仁十四年(823)与诸王公同和《渔歌子》,为日本填词之始。

#### 渔父

西塞山边白鹭飞。桃花流水鳜鱼肥。青箬笠,緑蓑衣。斜风细雨不须归。

#### 【附录】

吴曾《能改斋漫录》卷十六:"张志和《渔父词》云……。顾况《渔父词》:'新妇矶边月明。女儿浦口潮平。沙头鹭宿鱼惊。'东坡云:'玄真语极清丽,恨其曲度不传。'加数语以《浣溪沙》歌云:'西塞山边白鹭飞。散花洲外片帆微。桃花流水鳜鱼肥。 自庇一身青箬笠,相随到处緑蓑衣。斜风细雨不须归。'山谷见之,击节

称赏。且云: '惜乎散花与桃花字重叠。又渔舟少有使帆者。'乃取张、顾二词合为《浣溪沙》云: '新妇矶边眉黛愁。女儿浦口眼波秋。惊鱼错认月沉钩。 青箬笠前无限事,绿蓑衣底一时休。斜风细雨转船头。'东坡云: '鲁直此词,清新婉丽。问其最得意处,以山光水色替却玉肌花貌,真得渔父家风也。然才出新妇矶,便入女儿浦,此渔父无乃太澜浪乎。'"

# 白居易

白居易(772-846),字乐天,晚号香山居士。原籍太原,迁居下邽(今陕西渭南)。德宗贞元十六年(800)进士,历任左拾遗、江州司马、主客郎中、中书舍人、杭州刺史、苏州刺史等。文宗大和三年(829),以太子宾客分司东都,武宗会昌二年(842)以刑部尚书致仕。有《白氏长庆集》。《尊前集》录其词二十六首。

## 忆江南

江南好,风景旧曾谙。日出江花红胜火,春来江水绿如蓝。能不忆江南。 江南忆,最忆是杭州。山寺月中寻桂子,郡亭枕上看潮头。何日更重游。 江南忆,其次忆吴宫。吴酒一杯春竹叶,吴娃双舞醉芙蓉。早晚复相逢。

# 刘禹锡

刘禹锡(772—842),字梦得,原籍洛阳,迁居嘉兴,以彭城为郡望。 德宗贞元九年(793)进士,又中博学鸿词科。十九年入为监察御史。顺宗 即位,擢屯田员外郎、判度支盐铁案,参与王叔文"永贞革新"。次年宪宗 即位,改元元和,革新失败,贬连州刺史。元和十年(815)召还,再出为 播州刺史,以裴度力请,改连州刺史。文宗大和元年(827),授主客郎中 分司东都。三年,为礼部郎中。五年,出为苏州刺史。开成元年(836), 迁太子宾客、分司东都,遂居于洛阳。有《刘宾客文集》。《尊前集》录其词三十八首。

## 忆江南

和乐天春词,依《忆江南》曲拍为句。

春去也, 多谢洛城人。弱柳从风疑举袂, 丛兰裛露似沾巾。独坐亦含嚬。

[裛]:同"浥",打湿、沾湿。

[ 嘶]: 即"颦", 皱眉。

#### 【附录】

白居易《春词》:"低花映树小妆楼,春入眉心两点愁。斜倚阑干背鹦鹉,思量何事不回头。"

刘禹锡《和乐天春词》:"新妆宜面下朱楼,深锁春光一院愁。 行到中庭数花朵,蜻蜓飞上玉搔头。"

# 皇甫松

皇甫松(生卒年不详),松一作嵩,字子奇,自号檀栾子,睦州新安(今浙江淳安)人,著名古文家皇甫湜子,宰相牛僧孺表甥。工诗词,擅文章,久试不第,未入宦途。昭宗光化三年(900)韦庄奏请追赐温庭筠、皇甫松等人进士及第,故世称皇甫先辈。今存词二十二首,见《花间集》《尊前集》,王国维辑有《檀栾子词》。陈廷焯《白雨斋词话》卷七云:"唐人皇甫子奇词.宏丽不及飞卿.而措词闲雅.犹存古诗遗意。"

#### 梦江南

兰烬落, 屏上暗红蕉。闲梦江南梅熟日, 夜船吹笛雨潇潇。人语驿边桥。

#### 梦江南

楼上寝,残月下帘旌。梦见秣陵惆怅事,桃花柳絮满江城。双髻坐吹笙。

# 温庭筠

温庭筠(约812-约866),原名岐,字飞卿。祖籍太原,寓居户县 (今属陕西)。相貌奇丑,人称"温钟馗"。少敏悟,工为辞章,精通音 律,能逐弦吹之音,为侧艳之词。诗与李商隐并称"温李",词与韦庄并称 "温韦"。每入试,八叉手即成八韵,人称"温八叉"。其人傲物不拘,恃 才放旷,颇讥嘲权贵,取憎于时,尤为宰相令狐绹所不容,遂屡举不第。宣 宗大中十三年(859),为随县尉,后改方城尉,终国子助教,据称晚年坎 坷、流落而死。《花间集》录其词六十六首。

#### 菩萨蛮

小山重叠金明灭。鬓云欲度香腮雪。懒起画蛾眉。弄妆梳洗迟。 照花前后镜。花面交相映。新帖绣罗襦。双双金鹧鸪。

#### 菩萨蛮

水精帘里颇黎枕。暖香惹梦鸳鸯锦。江上柳如烟。雁飞残月天。 藕丝秋 色浅。人胜参差剪。双鬓隔香红。玉钗头上风。

[水精]: 即"水晶"。

[颇黎]:即"玻璃",古为玉名,亦称水玉。

[藕丝秋色浅]:指藕白色之衣裙,因秋景尚白,故习用秋色泛称浅白。

[人胜]: 胜, 古时女子头饰, 多以彩纸或金箔剪裁而成。旧俗人日 (正月初七)剪胜作人形, 贴于屏风或戴在发上, 以讨吉利, 故名 人胜。

# 菩萨蛮

玉楼明月长相忆。柳丝袅娜春无力。门外草萋萋。送君闻马嘶。 画罗金 翡翠。香烛销成泪。花落子规啼。绿窗残梦迷。

[萋萋]:草木茂密之貌。

[子规]:即杜鹃鸟,春末夏初时啼鸣,为青春将逝之象。

### 更漏子

柳丝长,春雨细。花外漏声迢递。惊塞雁,起城乌。画屏金鹧鸪。 香雾薄。透帘幕。惆怅谢家池阁。红烛背,绣帘垂。梦长君不知。

[谢家]:即谢娘家,歌妓之所。唐宰相李德裕有美姬名谢秋娘,后遂以谢娘代指歌妓。

#### 【附录】

王国维《人间词话》:"'画屏金鹧鸪'飞卿语也,其词品似之。温飞卿词,句秀也。"

## 更漏子

玉炉香,红蜡泪。偏照画堂秋思。眉翠薄,鬓云残。夜长衾枕寒。 梧桐树。三更雨。不道离情正苦。一叶叶,一声声。空阶滴到明。

#### 梦江南

千万恨,恨极在天涯。山月不知心里事,水风空落眼前花。摇曳碧云斜。

## 梦江南

梳洗罢,独倚望江楼。过尽千帆皆不是,斜晖脉脉水悠悠。肠断白蘋洲。

# 韦庄

韦庄(836? -910),字端已。京兆杜陵(今陕西西安)人。韦应物四世孙。广明元年(880)应举长安,值黄巢破京师,庄目睹战乱,感时而作长诗《秦妇吟》,时人号曰"秦妇吟秀才"。后流落江南,昭宗乾宁元年(894)第进士,为校书郎。乾宁四年奉使入蜀,擢左补阙。天复元年(901),从西川节度使王建,为掌书记。天复七年(907),朱温篡唐自立,遂劝王建称帝,国号大蜀,定开国制度,为吏部侍郎同平章事。卒谥文靖。诗集名《浣花集》,未收《秦妇吟》,赖敦煌遗书发现,方重传于人间。《花间集》录其词四十八首。

#### 浣溪沙

夜夜相思更漏残。伤心明月凭阑干。想君思我锦衾寒。 咫尺画堂深似海, 忆来唯把旧书看。几时携手入长安。

#### 菩萨蛮

红楼别夜堪惆怅。香灯半卷流苏帐。残月出门时。美人和泪辞。 琵琶金翠羽。弦上黄莺语。劝我早归家。绿窗人似花。

#### 【附录】

王国维《人间词话》:"'弦上黄莺语',端已语也,其词品似之。"

## 菩萨蛮

[垆边人似月]:《史记·司马相如列传》: "买酒舍沽酒,乃令文君当垆。"杜牧《黄州偶见作》诗: "有个当垆明似月,马鞭斜揖笑回头。"

## 菩萨蛮

劝君今夜须沉醉。樽前莫话明朝事。珍重主人心。酒深情亦深。 须愁春漏短。莫诉金杯满。遇酒且呵呵。人生能几何。

## 思帝乡

春日游。杏花吹满头。陌上谁家年少,足风流。妾拟将身嫁与,一生休。纵被无情弃、不能羞。

[休]:喜悦,欢乐。《诗·小雅·菁菁者我》:"既见君子,我心则休。"

## 荷叶杯

记得那年花下。深夜。初识谢娘时。水堂西面画帘垂。携手暗相期。 惆怅晓莺残月。相别。从此隔音尘。如今俱是异乡人。相见更无因。

#### 【附录】

蒋一葵《尧山堂外记》:"韦端己思旧姬,作《荷叶杯》词云……;又《小重山》词云……。流传入宫,姬闻之,不食死。"

## 鹿虔扆

鹿虔扆,生卒里第不详。后蜀孟昶时为永泰军节度使,进检校太尉,加 太保。《花间集》收词六首。

#### 临江仙

金锁重门荒苑静,绮窗愁对秋空。翠华一去迹无踪。玉楼歌吹,声断已随风。 烟月不知人事改,夜阑还照深宫。藕花相向野塘中。暗伤亡国,清露泣香红。

[翠华]: 用翠绿羽毛装饰的华丽车盖, 多用于帝王仪仗, 渐为诗词中帝王之代指。

#### 【附录】

蔡居厚《诗史》: "鹿虔扆工小词,伤蜀亡,词云……。"

# 李珣

李珣, 生卒年不详。字德润, 梓州(今四川三台)人。其先为波斯人, 后入蜀。珣少小苦学, 有诗名, 以秀才豫宾贡, 事前蜀王衍。其妹舜弦, 为 王衍昭仪。《花间词》录词三十七首, 《尊前集》录词十七首。

## 巫山一段云

古庙依青嶂,行宫枕碧流。水声山色锁妆楼。往事思悠悠。 云雨朝还暮,烟花春复秋。啼猿何必近孤舟。行客自多愁。

#### 【附录】

黄昇《唐宋诸贤绝妙词选》卷一: "唐词多缘题所赋,《临江仙》则言仙事,《女冠子》则述道情,《河渎神》则咏祠庙,大概不失本题之意。尔后渐变,去题远矣。如此二词,实唐人本来词体如此。"

## 南乡子

鱼市散,渡船稀。越南云树望中微。行客待潮天欲暮。送春浦。愁听猩猩啼 瘴雨。

## 南乡子

相见处,晚晴天。刺桐花下越台前。暗里回眸深属意。遗双翠。骑象背人先过水。

# 孙光宪

孙光宪(?-968),字孟文,号葆光子,陵州贵平(今四川仁寿)人。家世业农,少好学,广交蜀中文士。后唐天成元年(926),避地江陵,梁震荐于荆南武信王高季兴,为掌书记,累官荆南节度副使。检校秘书少监、试御史中丞。宋乾德元年(963)二月,宋军假道荆南,光宪劝荆南主高继冲献地。入宋,为黄州刺史。有史料笔记《北梦琐言》传世。《花间集》录词六十首,共存词八十四首。

## 浣溪沙

蓼岸风多橘柚香。江边一望楚天长。片帆烟际闪孤光。 目送征鸿飞杳 杳,思随流水去茫茫。兰红波碧忆潇湘。

# 欧阳炯

欧阳炯(896-971),益州华阳(今四川双流)人。少仕前蜀王衍,为中书舍人。前蜀亡,随王衍至洛阳。后复随孟知祥入蜀,佐其建后蜀,复为中书舍人。后主孟昶广政三年(940),仕至武德军节度判官,为赵崇祚所编《花间集》撰序。其后历仕翰林学士、吏部侍郎、门下侍郎兼户部尚书同平章事。后蜀亡,随孟昶至开封,仕宋为做散骑常侍,充翰林学士。欧阳炯性情放诞,精音律,通绘画,能文善诗,尤工小词。今存词四十七首。

## 江城子

晚日金陵岸草平。落霞明。水无情。六代繁华,暗逐逝波声。空有姑苏台上月,如西子镜,照江城。

#### 凤楼春

风髻绿云丛。深掩房栊。锦书通。梦中相见觉来慵。匀面泪,脸珠融。因想 玉郎何处去,对淑景谁同。 小楼中。春思无穷。倚栏颙望,暗牵愁绪, 柳花飞起东风。斜日照帘,罗幌香冷粉屏空。海棠零落,莺语残红。

# 冯延巳

冯延巳(903-960),又名延嗣,字正中,广陵(今江苏扬州)人,以文雅称,白衣见南唐烈祖李昪,起授秘书郎。元宗李璟时,进中书侍郎,拜同平章事。多技艺,工诗,喜为曲子词。北宋嘉祐三年(1058),其外孙陈世修辑其词为《阳春集》,序云:"公以金陵盛时,内外无事,朋僚亲旧,或当燕集,多运藻思为乐府新词,俾歌者倚丝竹而歌之,所以娱宾遣兴也。日月浸久,录而成编。观其思深辞丽,均律调新,真清奇飘逸之才也。"

#### 鹊踏枝

谁道闲情抛弃久。每到春来,惆怅还依旧。日日花前常病酒。不辞镜里朱颜瘦。 河畔青芜堤上柳。为问新愁,何事年年有。独立小桥风满袖。平林新月人归后。

#### 鹊踏枝

庭院深深深几许。杨柳堆烟,帘幕无重数。玉勒雕鞍游冶处。楼高不见章台路。 雨横风狂三月暮。门掩黄昏,无计留春住。泪眼问花花不语。乱红飞过秋千去。

#### 临江仙

秣陵江上多离别,雨晴芳草烟深。路遥人去马嘶沉。青帘斜挂,新柳万枝 金。 隔江何处吹横笛,沙头惊起双禽。徘徊一晌几般心。天长烟远,凝 恨独沾襟。

#### 谒金门

#### 【附录】

马令《南唐书》卷二十一:"元宗乐府词云:'小楼吹彻玉笙寒',延巳有'风乍起。吹皴一池春水'之句,皆为警策。元宗尝戏延巳曰:'吹皴一池春水,干卿何事?'延巳曰:'未若陛下小楼吹彻玉笙寒。'元宗悦。"

## 长命女

春日宴。绿酒一杯歌一遍。再拜陈三愿。一愿郎君千岁,二愿妾身长健。三 愿如同梁上燕。岁岁长相见。

#### 【附录】

吴曾《能改斋漫录》卷十七:"南唐宰相冯延巳有乐府一章,名《长命女》,云……。其后有以其词意改为《雨中花》云:'我有五重深深愿。第一愿且图久远。二愿恰如雕梁双燕。岁岁得长相见。三愿薄情相顾恋。第四愿永不分散。五愿奴哥收因结果,做个大宅

院。'味冯公之词,典雅丰容,虽置在古乐府,可以无愧。一遭俗子 窜易,不惟句意重复,而鄙恶甚矣。"

## 南乡子

细雨湿流光。芳草年年与恨长。烟锁凤楼无限事,茫茫。鸾镜鸳衾两断肠。 魂梦任悠扬。睡起杨花满绣床。薄悻不来门半掩,斜阳。负你残春泪几行。

[流光]:时光。

[薄悻]:薄情郎、负心汉。

## 李璟

李璟(916-961),字伯玉,初名景通,改名璟。徐州(今属江苏)人,南唐烈主李昪长子。保大元年(943)嗣位,交泰元年(958)兵败于后周,失淮南之地,遂去帝号,称国主,奉后周正朔。在位十九年,庙号元宗,又称中主。存词四首,宋人将其词与李煜裒为一编,名《南唐二主词》。

## 摊破浣溪沙

手卷真珠上玉钩。依前春恨锁重楼。风里落花谁是主,思悠悠。 青鸟不传云外信,丁香空结雨中愁。回首绿波三楚暮,接天流。

「真珠】: 代指珍珠帘。

[青鸟]:传说中为西王母传递信件的神鸟。

[丁香]句:李商隐《代赠》诗:"芭蕉不展丁香结,同向春风各自 愁。"

## 摊破浣溪沙

菡萏香销翠叶残。西风愁起碧波间。还与容光共憔悴,不堪看。 细雨梦 回鸡塞远,小楼吹彻玉笙寒。多少泪珠何限恨,倚阑干。

[菡萏]: 荷花。

[鸡塞]:即鸡塞山,在今陕西横山县西,汉与匈奴之边境,又作鸡鹿塞、鸡禄山。此处泛指边塞。

#### 【附录】

马令《南唐书》卷二十五《王感化传》: "王感化善讴歌,声韵悠扬,清振林木,系乐部,为歌板色。元宗嗣位,宴乐击鞠不辍,尝乘醉命感化奏《水调》词,感化唯歌'南朝天子爱风流'一句,如是者四。元宗辄悟,覆杯叹曰: '使孙、陈二主得此一句,不得当衔璧之辱也。'感化由是有宠。元宗尝作《浣溪沙》二阕,手写赐感化曰……。后主即位,感化以其词上之。后主感动,赏赐感化甚优。"

## 李煜

李煜(937-978),字重光,初名从嘉。号钟隐,又号莲峰居士。李璟第六子。二十五岁为南唐国主,在位十五年,称臣于宋。开宝八年(975)十一月,宋将曹彬破金陵,李煜被执入汴,封违命侯,改封陇西郡公。太平兴国三年(978)七月,被宋太宗以牵机药赐死。存词三十余首。今人王仲闻《南唐二主词校订》、詹安泰《李璟李煜词》辑录颇详。

#### 一斛珠

晚妆初过。沈檀轻注些儿个。向人微露丁香颗。一曲清歌,暂引樱桃破。 罗袖裛残殷色可。杯深旋被香醪涴。绣床斜凭娇无那。烂嚼红茸,笑向檀郎 唾。

[沈檀]:绛色颜料,古时多施于女子眉端或口唇。

[丁香颗]: 代指歌女的舌齿。

[樱桃]: 代指歌女之口。

[殷色]:黑红色。

[香醪涴]: 香醪, 美酒。涴, 染上、浸渍。

[红茸]:槟榔。

[檀郎]:西晋潘安小名檀奴,因其美貌,故后世女子以檀郎称呼丈夫或情郎。

## 子夜歌

人生愁恨何能免。消魂独我情何限。故国梦重归。觉来双泪垂。 高楼谁与上。长记秋晴望。往事已成空。还如一梦中。

#### 清平乐

### 望江南

多少恨, 昨夜梦魂中。还似旧时游上苑, 车如流水马如龙。花月正春风。

## 望江梅

闲梦远,南国正芳春。船上管弦江面渌,满城飞絮辊轻尘。忙杀看花人。 闲梦远,南国正清秋。千里江山寒色远,芦花深处泊孤舟。笛在月明楼。

## 浪淘沙

往事只堪哀。对景难排。秋风庭院藓侵阶。一桁珠帘闲不卷,终日谁来。 金剑已沉埋。壮气蒿莱。晚凉天净月华开。想得玉楼瑶殿影,空照秦淮。

[蒿菜]:本义为野草,后代指山林草野之间。阮籍《咏怀》诗(三十

一): "战士食糟糠, 贤者处蒿菜。"陈子昂《感遇》(三十

八): "感时思报国. 拔剑起蒿菜。"

## 相见欢

林花谢了春红。太匆匆。无奈朝来寒雨晚来风。 胭脂泪。相留醉。几时重。自是人生长恨水长东。

## 乌夜啼

无言独上西楼。月如钩。寂寞梧桐深院锁清秋。 剪不断,理还乱。是离愁。别是一般滋味在心头。

#### 【附录】

黄昇《唐宋诸贤绝妙词选》卷一:"此词最凄婉,所谓亡国之音 哀以思也。"

## 捣练子

深院静,小庭空。断续寒砧断续风。无奈夜长人不寐,数声和月到帘栊。

#### 破阵子

四十年来家国,三千里地山河。凤阁龙楼连霄汉,玉树琼枝作烟萝。几曾识干戈。 一旦归为臣虏,沈腰潘鬓销磨。最是仓皇辞庙日,教坊尤奏别离歌。垂泪对宫娥。

[沈腰潘鬓]《南史·沈约传》载沈约与徐勉书"言己老病,百日数旬, 革带常应移孔。以手握臂,率计月小半分。"潘岳《秋兴赋》序: "余春秋三十有二,始见二毛。"

#### 【附录】

苏轼《书李主词》: "后主既为樊若水所卖,举国与人,故当恸哭于九庙之外,谢其民而后行,顾乃挥泪宫娥,听教坊离曲,何哉!"

## 浪淘沙

帘外雨潺潺。春意阑珊。罗衾不耐五更寒。梦里不知身是客,一晌贪欢。 独自莫凭栏。无限江山。别时容易见时难。流水落花归去也,天上人间。

#### 【附录】

胡仔《苕溪渔隐丛话》前集卷二十九引《西清诗话》云:"南唐李后主归朝后,每怀江国,且念嫔妾散落,郁郁不自聊。尝作长短句云:'帘外雨潺潺。……'含思凄婉,未几下世。"

# 虞美人

春花秋月何时了。往事知多少。小楼昨夜又东风。故国不堪回首月明中。 雕栏玉砌应犹在。只是朱颜改。问君能有几多愁。恰似一江春水向东流。

#### 【附录】

王铚《默记》卷上: "徐铉归朝,为左散骑常侍,迁给事中。太宗一日问: '曾见李煜否?'铉对以: '臣安敢私见之!'上曰: '卿第往,但言朕令卿往相见可矣。'铉遂径往其居,望门下马,但一老卒守门。徐言愿见太尉。卒言: '有旨不得与人接,岂可见也?'铉云: '我乃奉旨来见。'老卒往报。徐入,立庭下久之。老卒遂入,取旧椅子相对。铉遥望见,谓卒曰: '但正衙一椅足矣。'顷间,李主纱帽道服而出。铉方拜,而李主遽下阶引其手以上。铉告辞宾主之礼,主曰: '今日岂有此礼!'徐引椅少偏乃敢坐。后主相持大哭,乃坐,默不言,忽长吁叹曰: '当时悔杀了潘佑、李平。'铉既去,乃有旨再对,询后主何言。铉不敢隐,遂有秦王赐牵机药之事。牵机药者,服之前却数十回,头足相就如牵机状也。又后主死赐第,因七夕命故妓作乐,声闻于外。太宗闻之大怒。又传'小楼昨夜又东风'及'一江春水向东流'之句,并坐之,遂被祸云。"

# 两宋词选

# 王禹偁

王禹偁(954—1001),字元之,济州巨野(今属山东)人。太宗太平兴国八年(983)进士。历任长洲知县、右拾遗、直史馆、知制诰。淳化二年(991)八月,为徐铉辩诬,贬商州团练使。五年,再知制诰,至道元年(995)兼翰林学士。旋坐谤讪,罢知滁州。真宗即位,复知制诰。咸平元年(998),预修《太祖实录》,直笔犯讳,降知黄州。禹偁擅诗文,为宋初重要诗人,有《小畜集》三十卷、《小畜外集》二十卷(今殘存)。《宋史》卷二九三有传。存词一首。

#### 点绛唇

雨恨云愁,江南依旧称佳丽。水村渔市。一缕孤烟细。 天际征鸿,遥 认行如缀。平生事。此时凝睇。谁会凭栏意。

[江南]句:谢朓《入朝曲》:"江南佳丽地,金陵帝王州。"

[行如缀]:即"如行缀"之倒文。行缀,舞队行列。《礼记·乐记》: "故其治民劳者,其舞行缀远;其治民逸者,其舞行缀短。"

# 寇准

寇准(961 — 1023),字平仲,华州下邽(今属陕西)人。太平兴国五年(980)进士,授大理评事,知归州巴东县。历任参知政事、同中书门下平章事、尚书右仆射、集贤殿大学士。景德元年(1004)冬,契丹攻宋,力谏真宗亲征,迫成澶渊之盟。天禧四年(1020),坐与周怀政谋请太子监国、禁皇后预朝政、奉真宗为太上皇事,罢相,封莱国公,寻贬道州司马。乾兴元年(1022),再贬雷州司户参军,遂卒于此。仁宗亲政,诏复太子太傅,赠中书令、莱国公,赐谥忠愍。有《忠愍公诗集》三卷,《宋史》卷二八一有传,存词四首。

#### 江南春

波渺渺,柳依依。孤村芳草远,斜日杏花飞。江南春尽离肠断,蘋满汀洲人未归。

#### 【附录】

《国老谈苑》卷二: "寇准初为密学, 方年少得意, 偶撰《江南曲》云: '江南春尽离肠断, 苹满汀洲人未归。'又云: '日暮江南一望时, 愁情不断如春水。'意皆凄惨。末年果南迁。""

## 钱惟演

钱惟演(962 — 1034),字希圣,钱塘(今浙江杭州)人。吴越王俶之子。归宋,累迁左神武将军。真宗咸平中召试学士院,直秘阁,预修《册府元龟》,擢知制诰。给事中。大中祥符八年(1015)为翰林学士。天禧四年(1020)为枢密副使。仁宗即位,为枢密使,俄罢知河阳。天圣三年(1025)加同平章事判许州。八年,判陈州,权江宁府。明道二年(1033)以泰宁军节度使判河南府。坐擅议宗庙,又与后家通婚,落同平章事,以崇信军节度使归镇。谥思,庆历间改谥文僖。文集皆佚,《宋史》卷三一七有传。词存二首。

## 木兰花

城上风光莺语乱。城下烟波春拍岸。绿杨芳草几时休,泪眼愁肠先已断。 情怀渐变成衰晚。鸾鉴朱颜惊暗换。昔年多病厌芳尊,今日芳尊惟恐浅。

[鸾鉴]:旧传舞鸾睹镜中自己身影,哀鸣而绝,后遂以鸾鉴、鸾镜代指镜子。

#### 【附录】

文莹《湘山野录》卷上:"钱思公谪居汉东日,撰一曲曰:'城上风光莺语乱。……'每歌之,酒阑则垂涕。时后阁尚有故国一白发姬,乃邓王俶歌鬟惊鸿者也。曰:'吾忆先王将薨,预戒挽铎中歌《木兰花》,引绋为送,今相公其将亡乎?'果薨于隋。邓王旧曲亦有'帝卿烟雨锁春愁,故国江山空泪眼'之局,颇相类。"

## 潘阆

潘阆(?一1009),字梦空,自号逍遥子,大名(今属河北)人,一说广陵(今江苏扬州)人。寓居钱塘(今浙江杭州)十年。太宗至道元年(995)召对,赐进士及第,试四门国子助教。真宗时,为滁州参军。后以"狂妄"获罪,去官飘泊。有《逍遥集》一卷。词今仅存《酒泉子》十首。

#### 酒泉子

长忆西湖,尽日凭阑楼上望。三三两两钓鱼舟。岛屿正清秋。 笛声依约 芦花里。白鸟成行忽惊起。别来闲整钓渔竿。思入水云寒。

#### 【附录】

文莹《湘山野录》卷下:"阆有清才,尝作《忆余杭》一阕曰: '长忆西湖……'钱希白(易)爱之,自写于玉堂后壁。"

#### 酒泉子

长忆观潮,满郭人争江上望。来疑沧海尽成空。万面鼓声中。 弄潮儿向 涛头立。手把红旗旗不湿。别来几向梦中看。梦觉尚心寒。

#### 【附录】

吴处厚《青箱杂记》卷六:"昔王维爱孟浩然吟哦风度,则绘为图以玩之。李洞慕贾岛诗名,则铸为像以师之。近世有好事者,以潘阆遨游浙江,咏潮著名,则亦以轻绡写其形容,谓之《潘阆咏潮图》。"

# 林逋

林逋(967—1028),字君复,钱塘(今浙江杭州)人。初游历江淮,后结庐西湖孤山,终身未娶,种梅养鹤,称"梅妻鹤子"。相传其二十年足不至城市,以布衣终身。真宗闻其名,曾赐粟帛;及卒,仁宗赐谥和靖先生。有《林和靖先生诗集》四卷。《宋史》卷四五七有传。存词三首。

#### 相思令

吴山青。越山青。两岸青山相对迎。争忍有离情。 君泪盈。妾泪盈。罗带同心结未成。江边潮已平。

[争忍]: 怎忍。

#### 【附录】

俞文豹《吹剑录》:"林和靖梅诗及'春水净于僧眼碧,晚山浓似佛头青"之句,可想见其清雅。而《长相思》词云:'君泪尽。妾泪尽。罗带同心结未成。江头潮已平。'情之所钟,虽贤者不能免,启少年所作耶?"

#### 点绛唇

金谷年年,乱生春色谁为主。馀花落处。满地和烟雨。 又是离歌,一阕 长亭暮。王孙去。萋萋无数。南北东西路。

[金谷]:即金谷园,西晋石崇于金谷涧中所建别墅,在今洛阳西北,石崇有《金谷诗序》记其事。

[王孙]二句:《楚辞·招隐士》:"王孙游兮不归,春草生兮萋萋。" 【附录】

《能改斋漫录》卷十七"咏草词"条:"梅圣俞在欧阳公座,有以林逋《草词》'金谷年年,乱生青草谁为主'为美者。圣俞因别为《苏幕遮》一阕云:'露堤平,烟墅杳。乱碧萋萋,雨后江天晓。独有庾郎年最少。窣地春袍,嫩色宜相照。 接长亭,迷远道。堪怨王孙,不记归期早。落尽梨花春又了。满地残阳,翠色和烟老。,欧公击节赏之。又自为一词云:'栏杆十二独凭春。晴碧远连云。千里万里,二月三月,行色苦愁人。 谢家池上,江淹浦畔,吟魄与离魂。那堪疏雨滴黄昏。更特地忆王孙。'盖《少年游令》也。不惟前二公所不及,虽置诸唐人温李集中,殆与之为一矣。今集本不载此篇,惜哉。"

# 范仲淹

范仲淹(989-1052),字希文,吴县(今江苏苏州)人。幼孤,母改嫁长山朱姓,遂名朱说,入仕后始还姓更名。真宗大中祥符八年(1015)进士。仁宗朝仕至枢密副使、参知政事。曾主持"庆历新政",提出明黜陟、抑侥幸、精贡举等十事。新政失败后外任地方,历知睦、苏、润、杭、青等州军。谥文正。有《范文正公集》二十卷,别集四卷。《宋史》卷三一四有传。存词五首。

#### 苏幕遮

碧云天,黄叶地。秋色连波,波上寒烟翠。山映斜阳天接水。芳草无情,更在斜阳外。 黯乡魂,追旅思。夜夜除非,好梦留人睡。明月楼高休独倚。酒入愁肠,化作相思泪。

#### 渔家傲

塞下秋来风景异。衡阳雁去无留意。四面边声连角起。千嶂里。长烟落日孤城闭。 浊酒一杯家万里。燕然未勒归无计。羌管悠悠霜满地。人不寐。将军白发征夫泪。

「千嶂」: 千峰。

[衡阳雁]:湖南衡阳有回雁峰,据称大雁南飞,至此峰而止,遇春而回。

[燕然]:东汉窦宪击匈奴于稽落山,大破之,遂登燕然山,去塞三千余里,刻石以纪汉功,令班固作铭。原石现已在蒙古杭爱山南麓发现。

#### 【附录】

魏泰《东轩笔录》卷十一: "范文正公守边日,作《渔家傲》乐歌数阕,皆以'塞上秋来'为首句,颇述边镇之苦。欧阳公尝呼为穷塞主之词。及王尚书素出守平凉,文忠亦作《渔家傲》一词送之,其断章曰: '战胜归来飞捷奏。倾贺酒。玉阶遥献南山寿。'顾谓王曰: '此真元帅事也。'"

### 剔银灯

昨夜因看蜀志。笑曹操孙权刘备。用尽机关,徒劳心力,只得三分天地。屈指细寻思,争如共、刘伶一醉。 人世都无百岁。少痴騃、老成尫悴。只有中间,些子少年,忍把浮名牵系。一品与千金,问白发、如何回避。

[刘伶一醉]:《晋书·刘伶传》:"刘伶字伯伦,沛国人也。身长六尺,容貌甚陋。放情肆志,常以细宇宙齐万物为心。澹默少言,不妄交游,与阮籍、嵇康相遇,欣然神解,携手入林。初不以家产有无介意。常乘鹿车,携一壶酒,使人荷锸而随之,谓曰:'死便埋我。'其遗形骸如此。"

[痴騃]: 不聪慧, 愚蠢。

[尫悴]:瘦弱憔悴。

[牵系]:牵挂。

### 【附录】

龚明之《中吴纪闻》卷五:"范文正与欧阳文忠公席上分题作《别银灯》,皆寓劝世之意。"

# 柳永

柳永 (984?-1055?),初名三变,字景庄,后改名永,字耆卿。福建崇安人。景祐元年 (1034)约五十岁中进士,释褐睦州推官,官至屯田员外郎,世称柳屯田,卒于润州 (今江苏镇江)。他是宋代最早大量填制慢词的词人,在词的体式发展上有重大贡献。词作题材以羁旅行役、男女情事与应制颂主为主,手法上擅长铺叙和白描,语言通俗口语化。词集《乐章集》今存,收词二百余首,有今人薛瑞生校注本,陶然、姚逸超校笺本。

### 雨霖铃

寒蝉凄切。对长亭晚,骤雨初歇。都门帐饮无绪,留恋处、兰舟催发。执手相看泪眼,竟无语凝噎。念去去、千里烟波,暮霭沉沉楚天阔。 多情自古伤离别。更那堪、冷落清秋节。今宵酒醒何处,杨柳岸、晓风残月。此去经年,应是良辰好景虚设。便纵有、千种风情,更与何人说。

### 【附录】

俞文豹《吹剑续录》:"东坡在玉堂,有幕士善歌。因问:'我词何如耆卿?'对曰:'郎中词,只好十七八女郎,执红牙,接歌杨柳岸晓风残月。学士词,须关西大汉,执铁绰板,唱大江东去。'公为之绝倒。"

### 凤栖梧

位倚危楼风细细。望极春愁,黯黯生天际。草色烟光残照里。无言谁会凭阑 意。 拟把疏狂图一醉。对酒当歌,强乐还无味。衣带渐宽终不悔。为伊 消得人憔悴。

## 定风波

自春来、惨绿愁红,芳心是事可可。日上花梢,莺穿柳带,犹压香衾卧。暖酥消,腻云亸。终日恹恹倦梳裹。无那。恨薄情一去,音书无个。 早知恁么,悔当初、不把雕鞍锁。向鸡窗、只与蛮笺象管,拘束教吟课。镇相随,莫抛躲。针线闲拈伴伊坐。和我。免使年少光阴虚过。

[可可]:凡事不在意或一切含糊过去之貌。薛昭蕴《浣溪沙》:"瞥 地见时犹可可,却来闲处暗思量。"

「暖酥】: 扑满脂粉的脸庞。

[腻云亸]:腻云、光泽的发髻。亸、垂下之貌。

[无那]:即无奈。杜甫《奉寄高常侍》:"汶上相逢年颇多,飞腾无那故人何。"

[无个]: 犹言没有。

[恁么]:即这么。

[鸡窗]:《艺文类聚》卷九十一引刘义庆《幽明录》曰:"晋兖州刺史沛国宋处宗尝买得一长鸣鸡,爱养甚至,恒笼着窗间,鸡遂作人语,与处宗谈论,极有玄致,终日不辍。处宗因此功业大进。"后遂以鸡窗代指书斋之窗。

[蛮笺]:精美稀有的笺纸。

[象管]:象牙制成的笔管,代指精美珍贵的毛笔。

[拘束教吟课]: 拘束,限制、约束。教,命令。吟课:日常的吟诗诵读。

[镇]:终日。

### 【附录】

张舜民《画墁录》:"柳三变既以词忤仁庙,吏部不放改官。三变不能堪,诣政府。晏公曰:'贤俊作曲子么?'三变曰:'只如相公亦作曲子。'公曰:'殊虽作曲子,不曾道彩线慵拈伴伊坐。'柳遂退。"

### 少年游

长安古道马迟迟。高柳乱蝉嘶。夕阳鸟外,秋风原上,目断四天垂。 归云一去无踪迹,何处是前期。狎兴生疏,酒徒萧索,不似去年时。

### 少年游

参差烟树灞陵桥。风物尽前朝。衰杨古柳,几经攀折,憔悴楚宫腰。 夕阳闲淡秋光老,离思满蘅皋。一曲阳关,断肠声尽,独自凭兰桡。

### 戚氏

晚秋天。一霎微雨洒庭轩。槛菊萧疏,井梧零乱惹残烟。凄然。望江关。飞云黯淡夕阳间。当时宋玉悲感,向此临水与登山。远道迢递,行人凄楚,倦听陇水潺湲。正蝉吟败叶,蛩响衰草,相应喧喧。 孤馆。度日如年。风露渐变,悄悄至更阑。长天净,绛河清浅,皓月婵娟。思绵绵。夜永对景,那堪屈指,暗想从前。未名未禄,绮陌红楼,往往经岁迁延。 帝里风光好,当年少日,暮宴朝欢。况有狂朋怪侣,遇当歌、对酒竞留连。别来迅景如梭,旧游似梦,烟水程何限。念利名、憔悴长萦绊。追往事,空惨愁颜。漏箭移,稍觉轻寒。渐鸣咽、画角数声残。对闲窗畔,停灯向晓,抱影无眠。

### 【附录】

王灼《碧鸡漫志》卷二:"前辈云:'《离骚》寂寞千载后, 《戚氏》凄凉一曲终。'"

# 望海潮

东南形胜,三吴都会,钱塘自古繁华。烟柳画桥,风帘翠幕,参差十万人家。云树绕堤沙。怒涛卷霜雪,天堑无涯。市列珠玑,户盈罗绮,竞豪奢。

重湖叠巘清嘉。有三秋桂子,十里荷花。羌管弄晴,菱歌泛夜,嬉嬉 钓叟莲娃。千骑拥高牙。乘醉听箫鼓,吟赏烟霞。异日图将好景,归去凤池 夸。

[高牙]: 牙旗, 将军所用之旗。

[凤池]: 即凤凰池, 中书省所在之地, 可代指宰相。

#### 【附录】

罗大经《鹤林玉露》卷一:"此词流播,金主亮闻歌,欣然有慕于'三秋桂子,十里荷花',遂起投鞭渡江之志。近时谢处厚诗云:'谁把杭州曲子讴,荷花十里桂三秋。那知卉木无情物,牵动长江万里愁。'余谓此词虽牵动长江之愁,然卒为海陵被杀之媒,未足恨也。至于荷艳桂香,妆点湖山之清丽,使士夫流连于歌舞嬉游之乐,遂忘中原,是则深可恨耳。因和其诗云:'须知快剑是清讴,牛渚依然一片秋。却恨荷花留玉辇,竟忘烟柳汴宫愁。'"

### 玉蝴蝶

望处雨收云断,凭阑悄悄,目送秋光。晚景萧疏,堪动宋玉悲凉。水风轻、蘋花渐老,月露冷、梧叶飘黄。遣情伤。故人何在,烟水茫茫。 难忘。文期酒会,几辜风月,屡变星霜。海阔天遥,未知何处是潇湘。念双燕、难凭远信,指暮天、空识归航。黯相望。断鸿声里,立尽斜阳。

# 八声甘州

对潇潇暮雨洒江天,一番洗清秋。渐霜风凄紧,关河冷落,残照当楼。是处红衰翠减,苒苒物华休。惟有长江水,无语东流。 不忍登高临远,望故乡渺邈,归思难收。叹年来踪迹,何事苦淹留。想佳人、妆楼颙望,误几回、天际识归舟。争知我,倚阑干处,正恁凝愁。

#### 【附录】

赵令畤《侯鲭录》卷七: "东坡云: 世言柳耆卿曲俗, 非也。如《八声甘州》云: '风霜凄紧, 关河冷落, 残照当楼。'此语于诗句, 不减唐人高处。"

吴曾《能改斋漫录》卷十六晁补之云:"世言柳耆卿曲俗,非也。如《八声甘州》云:'渐霜风凄紧,关河冷落,残照当楼。'此真唐人语不减高处矣。"

# 安公子

长川波潋滟。楚乡淮岸迢递,一霎烟汀雨过,芳草青如染。驱驱携书剑。当此好天好景,自觉多愁多病,行役心情厌。 望处旷野沉沉,暮云黯黯。行侵夜色,又是急桨投村店。认去程将近,舟子相呼,遥指渔灯一点。

# 醉蓬莱

渐亭皋叶下,陇首云飞,素秋新霁。华阙中天,锁葱葱佳气。嫩菊黄深,拒霜红浅,近宝阶香砌。玉宇无尘,金茎有露,碧天如水。 正值升平,万几多暇,夜色澄鲜,漏声迢递。南极星中,有老人呈瑞。此际宸游,凤辇何处,度管弦清脆。太液波翻,披香帘卷,月明风细。

[渐亭皋]二句:柳恽《捣衣诗》:"亭皋木叶下,陇首秋云飞。"

[素秋]:即言秋日。古时以五行附会万物,秋属金,其色白,故云素秋。

[华阙中天]:高耸入云的壮丽宫阙。班固《西都赋》:"树中天之华阙,丰冠山之朱堂。"

[葱葱佳气]:葱葱,气象明盛之貌。佳气,美好的云气。

[拒霜]: 拒霜花, 即木芙蓉。

[金掌]:宫殿前承露之金盘。

[万几]:皇帝日常处理的纷繁政务。万几多暇即云天下太平无事。

[南极星]:又名老人星、寿星,在南方,我国极难观测,惟有长江以南方可于短暂时间于南天低空中见之,古人视之为吉星,主天下太平与君主圣寿。《史记·天官书》:"狼比地有大星,曰南极老人。老人见,治安;不见,兵起。常以秋分时候之于南郊。"

[太液]:即太液池,西汉宫苑池沼。

[披香]:披香殿,西汉后宫之殿。

#### 【附录】

王闢之《渑水燕谈录》卷八:"柳三变,景祐末登进士第。少有俊才,尤精乐章。后以疾,更名永,字耆卿。皇祐中,久困选调,入内都知史某,爱其才而怜其潦倒。会教坊进新曲《醉蓬莱》,时司天台奏老人星见,史乘仁宗之悦,以耆卿应制。耆卿方冀进用,欣然走笔,甚自得意,词名《醉蓬莱慢》。比进呈,上见首有'渐'字,色若不悦。读至'宸游凤辇何处',乃与御制真宗挽词暗合,上惨然。又读至'太液波翻',曰:'何不言波澄?'乃掷于地。永自此不复进用。"

# 鹤冲天

黄金榜上。偶失龙头望。明代暂遗贤,如何向。未遂风云便,争不恣狂荡。 何须论得丧。才子词人,自是白衣卿相。 烟花巷陌,依约丹青屏障。 幸有意中人,堪寻访。且恁偎红倚翠,风流事、平生畅。青春都一饷。忍把 浮名,换了浅斟低唱。

[一饷]: 犹言片刻。

#### 【附录】

吴曾《能改斋漫录》卷十六:"仁宗留意儒雅,务本理道,深斥浮艳虚薄之文。初进士柳三变好为淫冶讴歌之曲,传播四方,尝有《鹤冲天》云:'忍把浮名,换了浅斟低唱。'及临轩发榜,特落之,曰:'且去浅斟低唱,何要浮名?'"

# 张先

张先(990—1078),字子野,湖州乌程(今浙江吴兴)人。宋仁宗天圣八年(1030)进士,官宿州掾,知吴江县,嘉禾判官。晏殊知永兴军时,辟为通判。后历知渝州、虢州,以都官郎中致仕。张先词与柳永齐名,以韵高取胜。晚年在杭州与苏轼交游,对苏轼产生重要的词学影响。苏轼曾言张先"诗笔老妙,歌词乃其余技",然张先终以词名著世,其文集失传,惟词集《张子野词》行于世,存词一百七十余首。今人吴熊和、沈松勤著有《张先集编年校注》,事迹详见夏承焘《张子野年谱》考证。

# 一丛花令

伤高怀远几时穷。无物似情浓。离愁正引千丝乱,更东陌、飞絮濛濛。嘶骑渐遥,征尘不断,何处认郎踪。 双鸳池沼水溶溶。南北小桡通。梯横画阁黄昏后,又还是、斜月帘栊。沉恨细思,不如桃杏,犹解嫁东风。

[桡]:船桨,代指船。

「解]: 能够。

#### 【附录】

皇都风月主人《绿窗新话》卷上引《古今词话》:"张先,字子野,尝与一尼私约,其老尼性严。每卧于池岛中一小阁上,俟夜深人

静, 其尼潜下梯, 俾子野登阁相遇。临别, 子野不胜绻绻, 作《一丛花》词以道其怀。"

范公偁《过庭录》:"张先子野郎中《一丛花》词云……一时盛传。欧阳永叔尤爱之,恨未识其人。子野家南地,以故至都,谒永叔。阍者以通,永叔倒屣迎之,曰:'此乃桃杏嫁东风郎中。'东坡守杭,子野尚在,尝预宴席,有《南乡子》词,末句云:'闻道贤人聚吴分,试问也应傍有老人星。'盖年八十余矣。"

# 天仙子

时为嘉禾小倅,以病眠,不赴府会。

《水调》数声持酒听。午醉醒来愁未醒。送春春去几时回,临晚镜。伤流景。往事后期空记省。 沙上并禽池上暝。云破月来花弄影。重重帘幕密遮灯,风不定。人初静。明日落红应满径。

「流景]: 似水年华。

[并禽]:成对的水鸟。

### 【附录】

《后山诗话》:"尚书郎张先善著词,有云'云破月来花弄影' '帘幕卷花影''堕轻絮无影'。世称诵,云'张三影'。王介甫谓 '云破月来花弄影',不如李冠'朦胧澹月云来去'也。"

胡仔《苕溪渔隐丛话》前集卷三十七引《遁斋闲览》云:"张子野郎中以乐章擅名一时,宋子京尚书奇其才,先往见之,遣将命者谓曰:'尚书欲见云破月来花弄影郎中乎?'子野屏后呼曰:'得非红杏枝头春意闹尚书邪?'遂出置酒尽欢。"又引《古今诗话》云:"有客谓子野曰:'人皆谓公张三中,即心中事、眼中泪、意中人也。'公曰:'何不目之为张三影?'客不晓。公曰:'云破月来花弄影;娇柔懒起,帘压卷花影;柳径无人,堕风絮无影。此余平生所得意也。'"

# 木兰花

### 乙卯吴兴寒食

龙头舴艋吴儿竞。笋柱秋千游女并。芳洲拾翠暮忘归,秀野踏青来不 定。 行云去后遥山暝。已放笙歌池院静。中庭月色正清明,无数杨花过 无影。

[笋柱]: 竹子做的秋千柱。

[拾翠]: 古时女子踏青时常采百草, 故渐以拾翠代指春游。

[行云]:本指天上的浮云,此处双关,亦指游女。

[放]: 即散。

### 青门引

#### 春思

乍暖还轻冷。风雨晚来方定。庭轩寂寞近清明,残花中酒,又是去年 病。 楼头画角风吹醒。入夜重门静。那堪更被明月,隔墙送过秋千影。

# 渔家傲

### 和程公闢赠别

巴子城头青草暮。巴山重叠相逢处。燕子占巢花脱树。杯且举。瞿塘水阔舟难渡。 天外吴门清霅路。君家正在吴门住。赠我柳枝情几许。春满缕。为君将入江南去。

[巴子]:即渝州、今之重庆、因周朝时为巴子国属地、故名。

[清霅]: 湖州吴兴城外的霅溪, 因溪水清澈, 故名。

[将入]: 携到, 带入。

# 碧牡丹

#### 晏同叔出姬

步帐摇红绮。晓月堕。沉烟砌。缓板香檀,唱彻伊家新制。怨入眉头,敛黛峰横翠。芭蕉寒,雨声碎。 镜华翳。闲照孤鸾戏。思量去时容易。钿盒瑶钗,至今冷落轻弃。望极蓝桥,但暮云千里。几重山,几重水。

[蓝桥]:传说尾生与女子相期于蓝桥之下,女子不来,尾生不去,后水涨桥面,尾生抱桥柱而死。

### 【附录】

《道山清话》: "晏元献为京兆,辟张先为通判。新纳侍儿,公甚属意。先,字子野,能为诗词,公雅重之。每张来,令侍儿出侑觞,往往歌子野所为之词。其后王夫人寝不能容,公即出之。一日,子野至,公与之饮,子野作《碧牡丹》词,令营妓歌之,有'望极蓝桥,但暮云千里。几重山,几重水'之句。公问之,抚然曰:'人生行乐耳,何自苦如此。'亟命于宅库支钱若干,复取前所出侍儿。既来.夫人亦不复谁问也。"

# 晏殊

晏殊 (991 — 1055),字同叔,抚州临川 (今属江西)人。谥元献。十五岁以神童召试,赐同进士出身。初授秘书省正字,久之,擢翰林学士。仁宗天圣三年 (1025) 迁枢密副使,明道元年 (1032) 除参知政事,康定元年 (1040) 进枢密使,庆历二年 (1042) 加同平章事。卒谥元献。晏殊原有集一百卷,久佚。清胡亦堂辑《元献遗文》一卷,仅存诗六首。词集《珠玉词》今存,有词一百三十余首,今人张草纫整理笺注。晏殊一生富贵优游,词作多写歌酒风月、闲情别绪,而笔调闲婉,理致深蕴,音律谐适,词语雅丽、有珠圆玉润之称。

### 浣溪沙

一曲新词酒一杯。去年天气旧亭台。夕阳西下几时回。 无可奈何花落去,似曾相识燕归来。小园香径独徘徊。

#### 【附录】

吴曾《能改斋漫录》卷十一: "晏元献赴杭州,道过维扬,憩大明寺,瞑目徐行,使侍史诵壁间诗板,戒其勿言爵里、姓氏,终篇者无几。又使别诵一诗云:'水调隋宫曲,当年亦九成。哀音已亡国,废沼尚留名。仪凤终沉迹,鸣蛙只沸声。凄凉不可问,落日下芜城。'徐问之,江都尉王琪诗也。召至同饭,又同步游池上。时春晚,已有落花。晏云:'每得句书墙壁间,或弥年未尝强对。且如"无可奈何花落去",至今未能也。'王应声曰:'似曾相识燕归来。'自此辟置,又荐馆职,遂跻侍从矣。"

晏殊《假中示判官张寺丞王校勘》诗: "元巳清明假未开,小园 幽径独徘徊。春寒不定斑斑雨,宿醉难禁滟滟杯。无可奈何花落去, 似曾相识燕归来。游梁赋客多风味,莫惜青钱万选才。"

# 浣溪沙

一向年光有限身。等闲离别易消魂。酒筵歌席莫辞频。 满目山河空念远,落花风雨更伤春。不如怜取眼前人。

[一向]:通"一晌",短暂、片刻。

[年光]: 春光。

### 蝶恋花

槛菊愁烟兰泣露。罗幕轻寒,燕子双飞去。明月不谙离恨苦。斜光到晓穿朱户。 昨夜西风凋碧树。独上高楼,望尽天涯路。欲寄彩笺兼尺素。山长水阔知何处。

# 踏莎行

小径红稀, 芳郊绿遍。高台树色阴阴见。春风不解禁杨花, 蒙蒙乱扑行人面。 翠叶藏莺, 朱帘隔燕。炉香静逐游丝转。一场愁梦酒醒时, 斜阳却照深深院。

### 山亭柳

### 赠歌者

家住西秦。赌博艺随身。花柳上,斗尖新。偶学念奴声调,有时高遏行云。 蜀锦缠头无数,不负辛勤。 数年来往咸京道,残杯冷炙漫销魂。衷肠 事,托合人。若有知音见采,不辞遍唱阳春。一曲当筵落泪,重掩罗巾。

[赌博]:赌玩博戏。古时酒席间通过掷采(类似今之骰子)以较量胜负的游戏。

[花柳]: 歌舞欢乐的场合。

[尖新]:新奇别致。

[念奴]: 唐玄宗天宝年间著名歌女。

[咸京]: 咸指秦都咸阳,即今之西安。京指北宋京城开封。意谓往来长安开封之间。

[见采]:受到赏识与理解。

[阳春]: 阳春曲, 战国时流行于楚地, 后代指难以歌唱的高雅乐曲。

# 宋祁

宋祁(998—1061),字子京,小字选郎,安州安陆(今属湖北)人,高祖 宋绅迁开封雍丘(今河南杞县)。仁宗天圣二年(1024)进士,复经皇帝召试, 授直史馆。历官翰林学士、史馆修撰,与欧阳修等人同修《新唐书》。累迁 知制诰、工部尚书、翰林学士承旨。谥景文。其词语言工丽,善炼字句,意切境新,有"红杏枝头春意闹"尚书之雅号。集已佚,存词六首。

# 玉楼春

东城渐觉风光好。縠绉波纹迎客棹。绿杨烟外晓寒轻,红杏枝头春意闹。 浮生长恨欢娱少,肯爱千金轻一笑。为君持酒劝斜阳,且向花间留晚照。

#### 【附录】

胡仔《苕溪渔隐丛话前集》卷三十七引《遁斋闲览》:"张子野郎中以乐章擅名一时。宋子京尚书奇其才,先往见之。遣将命者,谓曰:'尚书欲见云破月来花弄影郎中乎。'子野屏后呼曰:'得非红杏枝头春意闹尚书邪。'遂出,置酒尽欢。盖二人所举,皆其警策也。"

# 浪淘沙近

少年不管。流光如箭。因循不觉韶光换。至如今,始惜月满、花满、酒满。 扁舟欲解垂杨岸。尚同欢宴。日斜歌阕将分散。倚兰桡,望水远、天远、人远。

# 欧阳修

欧阳修(1007—1072),庐陵(今江西吉安)人。号醉翁,晚号六一居士。仁宗天圣八年(1030)中进士甲科。初仕西京留守推官,与时任东都留守钱惟演相从甚笃。景祐元年(1034),召试学士院,充馆阁校勘。三年,因范仲淹事切责谏官高若讷,降为峡州夷陵令。康定元年(1040),复馆阁校勘。庆历三年(1043),知谏院,擢同修起居注,知制诰。四年,为河北都转运使。五年,庆历新政失败,因力为新政主持者范仲淹、韩琦、杜衍等申辩,贬知滁州,徙扬州、颍州。至和元年(1054),权知开封府。五年,拜枢密副使。六年,进参知政事。英宗治平四年(1067),罢为观文殿学士,转刑部尚书知亳州。神宗熙宁元年(1068),徙知青州,因反对青苗法,再徙蔡州。四年,以太子少师致仕。卒赠太子太师,谥文忠。今传《欧

阳文忠公集》一百五十三卷,集中有《近体乐府》三卷。另有单行词集《醉翁琴趣外篇》六卷。共存词二百二十余首,以深婉俊秀著称。今人整理本有胡可先、徐迈《欧阳修词校注》,欧阳明亮《欧阳修词校笺》。

# 采桑子

群芳过后西湖好,狼藉残红。飞絮濛濛。垂柳阑干尽日风。 笙歌散尽游 人去,始觉春空。垂下帘栊。双燕归来细雨中。

#### 【附录】

欧阳修《采桑子》词十首,皆以"西湖好"起句。前有《西湖念语》一篇,云:"昔者王子猷之爱竹,造门不问于主人;陶渊明之卧舆,遇酒便留于道士。况西湖之胜概,擅东颍之佳名。虽美景良辰,固多于高会。而清风明月,幸属于闲人。并游或结于良朋,乘兴有时而独往。鸣蛙暂听,安问属官而属私。曲水临流,自可一觞而一咏。至欢然而会意,亦傍若于无人。乃知偶来常胜於特来,前言可信。所有虽非于己有,其得已多。因翻旧阕之辞,写以新声之调,敢阵薄伎,聊佐清欢。"

# 采桑子

十年前是尊前客,月白风清。忧患凋零。老去光阴速可惊。 鬓华虽改心 无改,试把金觥。旧曲重听。犹似当年醉里声。

# 朝中措

送刘仲原甫出守维扬

平山阑槛倚晴空。山色有无中。手种堂前垂柳,别来几度春风。 文章太守,挥毫万字,一饮千钟。行乐直须年少,尊前看取衰翁。

[平山]: 欧阳修知扬州时所建之平山堂。

#### 【附录】

胡仔《苕溪渔隐丛话》后集卷三十二引《艺苑雌黄》:"送刘贡父守维扬作长短句云:'平山阑槛倚晴空。山色有无中。'平山堂望江左诸山甚近,或以为永叔短视,故云'山色有无中'。东坡笑之,因赋快哉亭道其事云:'长记平山堂上,欹枕江南烟雨,杳杳没孤鸿。认取醉翁语,山色有无中。'盖山色有无中,非烟雨不能然也。"

## 踏莎行

候馆梅残,溪桥柳细。草薰风暖摇征辔。离愁渐远渐无穷,迢迢不断如春水。 寸寸柔肠,盈盈粉泪。楼高莫近危阑倚。平芜尽处是春山,行人更在春山外。

[平芜]:漫向远方的草地。

### 生查子

### 元夕

去年元夜时,花市灯如昼。月上柳梢头,人约黄昏后。 今年元夜时,月 与灯依旧。不见去年人,泪满春衫袖。

## 玉楼春

尊前拟把归期说。欲语春容先惨咽。人生自是有情痴,此恨不关风与 月。 离歌且莫翻新阕。一曲能教肠寸结。直须看尽洛城花,始共春风容 易别。

# 玉楼春

燕鸿过后春归去。细算浮生千万绪。来如春梦几多时,去似朝云无觅处。闻琴解佩神仙侣。挽断罗衣留不住。劝君莫作独醒人,烂醉花间应有数。

[有数]:数量不多或极为难得。

## 临江仙

柳外轻雷池上雨,雨声滴碎荷声。小楼西角断虹明。阑干倚处,待得月华生。 燕子飞来窥画栋,玉钩垂下帘旌。凉波不动簟纹平。水精双枕,傍有堕钗横。

### 【附录】

钱世昭《钱氏私志》:"欧文忠任河南推官,亲一妓。时先文僖(即钱惟演)罢政,为西京留守,梅圣俞、谢希深、尹师鲁同在幕下,惜欧有才无行,共白于公,屡微讽而不之恤。一日宴于后圃。客集而欧与妓俱不至,移时方来,在坐相视以目。公责妓云:'末至何也?'妓云:'中暑,往凉堂睡着,觉而失金钗,犹未见。'公曰:

'若得欧阳推官一词,当为赏汝。'欧即席云:柳外轻雷池上雨……。坐客皆称善,遂命妓满酌觞饮,而令公库偿钗。咸谓欧当少戢,不惟不恤,翻以为怨。后修《五代史·十国世家》,痛毁吴越。又于《归田录》中说先文僖事,皆非美谈。"

## 临江仙

记得金銮同唱第,春风上国繁华。如今薄宦老天涯。十年歧路,空负曲江花。 闻说阆山通阆苑,楼高不见君家。孤城寒日等闲斜。离愁难尽,红树远连霞。

#### 【附录】

文莹《湘山野录》卷上:"欧阳公顷谪滁州,一同年将赴阆倅, 因访之,即席为一曲歌以送,曰:……。其飘逸清远,皆白之品流 也。公不幸晚为人构淫艳数曲射之,以成其毁。予皇祐中,都下已闻 此阕,歌于人口者二十年矣。嗟哉!不能为之力辨。"

### 望江南

江南柳,叶小未成阴。人为丝轻那忍折,莺嫌枝嫩不胜吟。留着待春深。 十四五,闲抱琵琶寻。阶上簸钱阶下走,恁时相见早留心。何况到而今。

[簸钱]: 古时以掷钱赌输赢的游戏。王建《宫词》(其九十三): "暂向玉花阶上坐, 簸钱赢得两三筹。"

#### 【附录】

钱世昭《钱氏私志》:"欧后为人言其盗甥,表云:'丧厥夫而 无托,携孤女以来归。张氏此时,年方七岁。'内翰伯见而笑云: '年方七岁,正是学簸钱时也。'"

### 浪淘沙

把酒祝东风。且共从容。垂杨紫陌洛城东。总是当时携手处,游遍芳丛。 聚散苦匆匆。此恨无穷。今年花胜去年红。可惜明年花更好,知与谁同。

# 苏舜钦

苏舜钦(1008-1049),字子美,原籍梓州铜山(今四川中江东南),自曾祖起移家开封(今属河南)。仁宗景祐二年(1035)进士,历任蒙城、长垣县令,入为集贤殿校理、监进奏院。杜衍、富弼、范仲淹执政,主持"庆历新政"。苏舜钦为杜衍婿,因进奏院祠神,以出售废纸公钱宴会,为人所劾,以监守自盗罪削职为民,闲居苏州。后复为湖州长史。有《苏学士文集》十六卷。《宋史》卷四四二有传。存词一首。

## 水调歌头

### 沧浪亭

潇洒太湖岸,淡伫洞庭山。鱼龙隐处,烟雾深锁渺弥间。方念陶朱张翰,忽有扁舟急桨,撇浪载鲈还。落日暴风雨,归路绕汀湾。 丈夫志,当景盛,耻疏闲。壮年何事憔悴,华发改朱颜。拟借寒潭垂钓,又恐鸥鸟相猜,不肯傍青纶。刺棹穿芦荻,无语看波澜。

[陶朱]: 相传范蠡助勾践平吴后,携西施隐于五湖之上,化名陶朱公经商,获万贯家资。

[张翰]:西晋名臣,字季鹰,苏州人。《世说新语·识鉴》:"张季鹰辟齐王东曹掾,在洛见秋风起,因思吴中菰菜羹、鲈鱼脍,曰: '人生贵得适意尔,何能羁宦数千里以要名爵!'遂命驾便归。俄而齐王败,时人皆谓为见机。"

# 王安石

王安石(1021—1086),字介甫,晚号半山,抚州临川(今属江西)人。 仁宗庆历二年(1042)进士。历签书淮南判官、知鄞县、通判舒州,召为群牧 判官。出知常州,移提点江东刑狱。嘉祐三年(1058),入为度支判官,献 万言书极陈当世之务。六年,知制诰。英宗治平四年(1067),出知江宁 府。寻召为翰林学士。神宗熙宁二年(1069),除参知政事,推行新法。次 年,拜同中书门下平章事。七年,因新法迭遭攻击,辞相位,以观文殿学士 知江宁府。八年,复相。九年,再辞,以镇南军节度使、同平章事判江宁 府。十年,免府任,为集禧观使,居江宁钟山。元丰元年(1078),封舒国公。后改封荆。卒赠太傅,哲宗绍圣间谥文,徽宗崇宁间追封舒王。有《临川集》一百卷,《宋史》卷三二七有传。《临川集》中收词两卷,存二十余首。

### 桂枝香

登临送目。正故国晚秋,天气初肃。千里澄江似练,翠峰如簇。征帆去棹残阳里,背西风、酒旗斜矗。彩舟云淡,星河鹭起,画图难足。 念往昔、繁华竞逐。叹门外楼头,悲恨相续。千古凭高对此,谩嗟荣辱。六朝旧事随流水,但寒烟、芳草凝绿。至今商女,时时犹唱,《后庭》遗曲。

#### 【附录】

《景定建康志》卷三十七引《古今词话》:"金陵怀古,诸公寄词于《桂枝香》,凡三十余首,独介甫最为绝唱。东坡见之,不觉叹息曰:'此老乃野狐精也。'"

# 王安国

王安国(1028—1074),字平甫,江西临川人,王安石之弟。神宗熙宁元年(1068)召试,赐进士及第。历西京国子教授、崇文院校书,秘阁校理。政见与安石不合,吕惠卿为相时,因与郑侠狱牵连,夺官放归。《宋史》卷三二七有传。有文集六十卷,已佚。今存《王校理集》一卷,词存三首。

# 清平乐

#### 春晚

留春不住。费尽莺儿语。满地残红宫锦污。昨夜南园风雨。 小怜初上琵琶。晓来思绕天涯。不肯画堂朱户,春风自在梨花。

[小怜]:北齐后主冯淑妃名小怜,善琵琶,工歌舞,后遂以小怜代称琵琶歌姬。

# 晏幾道

晏幾道(1038—1110),字叔原,号小山。晏殊第七子(实为第八子,其三兄全节过继给叔父为子)。仁宗至和中,为太常寺祝。熙宁七年,以郑侠上书事下狱。元丰年间与黄庭坚多有唱和,后监许田镇,乾宁军通判,开封府推官。以乐府词著称,尤擅小令,多写爱情离合,人生聚散,凄婉动人。有《小山词》一卷,存词二百五十余首,今人张草纫有笺注本。

# 临江仙

梦后楼台高锁,酒醒帘幕低垂。去年春恨却来时。落花人独立,微雨燕双飞。 记得小蘋初见,两重心字罗衣。琵琶弦上说相思。当时明月在,曾照彩云归。

[两重心字]: 心字即绣在罗衣上的篆体心字图案, 或是多个心字相叠, 故云两重。

#### 【附录】

晏幾道《小山词自序》:"《补亡》一编,补乐府之亡也。叔原往者,浮沉酒中,病世之歌词不足以析酲解愠,试续南部诸贤绪馀,作五、七字语,期以自娱。不独叙其所怀,兼写一时杯酒间见闻、所同游者意中事。尝思感物之情,古今不易,窃以谓篇中之意。昔人所不遗,第于今无传尔。故今所制,通以"补亡"名之。始时,沈十二廉叔、陈十君宠家,有莲、鸿、蒴、云,品清讴娱客。每得一解,即以草授诸儿。吾三人持酒听之,为一笑乐。已而君宠疾废卧家,廉叔下世,昔之狂篇醉句遂与两家歌儿酒使俱流传于人间。自尔邮传滋多,积有串易。七月己已,为高平公缀缉成编。追惟往昔过从饮酒之人,或垄木已长,或病不偶。考其篇中所记悲欢合离之事,如幻、如电、如昨梦前尘,但能掩卷怃然,感光阴之易迁,叹境缘之无实也。"

### 蝶恋花

## 蝶恋花

### 鹧鸪天

彩袖殷勤捧玉钟。当年拚却醉颜红。舞低杨柳楼心月,歌尽桃花扇影风。 从别后,忆相逢。几回魂梦与君同。今宵剩把银釭照,犹恐相逢是梦中。

#### 【附录】

赵令畤《侯鲭录》卷七引晁无咎云:"晏叔原不蹈袭人语,而风度闲雅,自是一家。如'舞低杨柳楼心月,歌尽桃花扇底风。'知此人必不生在三家村中者。"

胡仔《苕溪渔隐丛话》前集卷五十九引《雪浪斋日记》云:"晏 叔原工小词如'舞低杨柳楼心月,歌尽桃花扇底风。'不愧六朝宫掖 体。"

# 鹧鸪天

小令尊前见玉箫。银灯一曲太妖娆。歌中醉倒谁能恨,唱罢归来酒未 消。 春悄悄,夜迢迢。碧云天共楚宫遥。梦魂惯得无拘检,又踏杨花过谢桥。

#### 【附录】

邵博《闻见后录》卷十九:"伊川(即程颐)闻诵叔原'梦魂惯得无拘检,又踏杨花过谢桥'长短句,笑曰:'鬼语也。'意亦赏之。程晏三家有连云。"

## 阮郎归

天边金掌露成霜。云随雁字长。绿杯红袖称重阳。人情似故乡。 兰佩紫,菊簪黄。殷勤理旧狂。欲将沉醉换悲凉。清歌莫断肠。

# 王观

王观,字通叟,号天鬻子。泰州海陵(今属江苏)人,一作如皋(今属江苏)人。仁宗嘉祐二年(1057)进士。授单州推官,试秘书省校书郎。神宗熙宁八年(1075)迁大理寺丞、知江都县。元丰二年(1079)以枉法受财,编管永州。曾有词集《冠柳集》一卷,今已不传,近人曹元忠辑得二十余首。

## 卜算子

### 送鲍浩然之浙东

# 张舜民

张舜民,字芸叟,自号浮休居士,长安(今陕西西安)人。英宗治平二年(1065)进士,为襄乐令。神宗元丰中,应环庆帅高遵裕辟掌机宜文字。元丰六年(1083),因作《西征回途中》诗,贬监邕州盐米仓,改监郴州酒税。哲宗元祐初,以司马光荐,为监察御史,又因言事出通判虢州。元祐九年(1094),以秘书少监出使辽国。使回,为陕西转运使,历知陕、潭、青三州,元符中罢。徽宗即位,召为右谏议大夫,旋出知定州,改同州。入元祐党籍,贬楚州团练副使、商州安置,后复集贤殿修撰,卒于政和中。著有《画墁集》,已佚。清四库馆臣据《永乐大典》所录,辑为八卷。《宋史》卷三四七有传。词今存四首。

# 卖花声

#### 题岳阳楼

木叶下君山。空水漫漫。十分斟酒敛芳颜。不是渭城西去客,休唱阳 关。 醉袖抚危栏。天淡云闲。何人此路得生还。回首夕阳红尽处,应是 长安。 [君山]: 山名, 在湖南洞庭湖湖口, 又名湘山。

# 孙浩然

孙浩然, 生平不详。王诜曾画其《离亭燕》词意, 大约是与苏轼同时。

# 离亭燕

一带江山如画。景物向秋潇洒。水浸碧天何处断,霁色冷光相射。橘树荻花洲,掩映竹篱茅舍。 天际客帆高挂。烟外酒旗低亚。多少六朝兴废事,尽入渔樵闲话。怅望倚层楼,红日无言西下。

# 王诜

王诜,生卒年不详。字晋卿,太原(今属山西)人,徙居开封(今属河南)。神宗熙宁二年(1069),以右侍禁、驸马都尉选尚英宗女舒国长公主。十年,为绛州团练使。元丰二年(1079),以交结苏轼,追两官勒停。三年,妻公主死,再责昭化军节度行军司马,均州安置。七年,徙颍州。哲宗元祐元年(1086),复驸马都尉。八年,叙文州团练使。官至留后。谥荣安。诜工诗善画,同时诗人多有为之题画之作。《宋史》卷二五五有传。今存词十五首。

# 忆故人

烛影摇红向夜阑, 乍酒醒、心情懒。尊前谁为唱阳关, 离恨天涯远。 无奈云沉雨散。凭阑干、东风泪眼。海棠开后, 燕子来时, 黄昏庭院。

#### 【附录】

吴曾《能改斋漫录》卷十七:"王都尉有《忆故人》词云:……。徽宗喜其词意,犹以不丰容宛转为恨。遂令大晟府别撰腔,周美成增损其词,而以首句为名,谓之《烛影摇红》。云:'芳脸匀红,黛眉巧画宫妆浅。风流天付与精神,全在娇波眼。早是萦心可惯。向尊前、频频顾眄。几回想见,见了还休,争如不见。

影摇红, 夜阑饮散春宵短。当时谁会唱阳关, 离恨天涯远。争奈云收雨散。凭阑干、东风泪满。海棠开后, 燕子来时, 黄昏深院。,"

# 苏轼

苏轼(1036 - 1101),字子瞻,一字和仲,号东坡居士,眉州眉山(今 属四川)人。仁宗嘉祐二年(1057)进士。六年,试制科,授签书凤翔府节 度判官厅事。英宗治平二年(1065),除判登闻鼓院,寻试馆职,除直史 馆。三年,父洵卒,护丧归蜀。神宗熙宁二年(1069),服除,除判官告院 兼判尚书祠部, 权开封府推官。四年, 通判杭州。历知密州、徐州。元丰二 年(1079),移知湖州,乌台诗案狱起,贬黄州团练副使。七年,量移汝 州。八年春,得请常州居住,十月知登州。寻召除起居舍人。哲宗元祐元年 (1086) 迁中书舍人,改翰林学士。四年,知杭州。六年,除翰林学士承 旨, 寻知颍州。历知扬州、定州。绍圣元年(1094), 哲宗亲政, 贬惠州。 四年,再贬儋州。徽宗即位,赦还,提举玉局观。建中靖国元年(1101), 卒于常州。南宋孝宗时谥文忠。《宋史》卷三三八有传。有《东坡七集》传 世、共计一百一十卷。词有《东坡乐府》二卷、南宋傅干曾为之作注、成 《注坡词》十二卷。苏轼学养高妙,性情豁达,才情奔放,诗、词、文均成 就卓著, 兼擅书画。其词从创作观念到题材体制、语言风格上皆有革新, 被 称为"以诗为词"。今存词三百五十余首,有今人朱祖谋、龙沐勋笺注本, 薛瑞生编年笺注本,邹同庆、王宗堂编年校注本等。

# 水龙吟

#### 次韵章质夫扬花词

似花还似非花,也无人惜从教坠。抛家傍路,思量却是,无情有思。萦损柔肠,困酣娇眼,欲开还闭。梦随风万里,寻郎去处,又还被、莺呼起。 不恨此花飞尽,恨西园、落红难缀。晓来雨过,遗踪何在,一池萍碎。春色 三分,二分尘土,一分流水。细看来,不是杨花点点,是离人泪。

### 【附录】

章楶《水龙吟》: "燕忙莺懒芳残,正堤上柳花飘坠。轻飞点画 青林,谁道全无才思。闲趁游丝,静临深院,日长门闭。傍珠帘散 漫,垂垂欲下,依前被风扶起。 兰帐玉人睡觉。怪春衣、雪沾琼 缀。绣床渐满, 香球无数, 才圆却碎。时见蜂儿, 仰粘轻粉, 鱼吹池水。望章台路杳, 金鞍游荡, 有盈盈泪。"

苏轼《与章质夫》:"某启。承喻慎静以处忧患。非心爱我之深,何以及此。谨置之座右也。《柳花》词妙绝,使来者何以措词。本不敢继作,又思公正柳花飞时出巡按,坐想四子,闭门愁断,故写其意,次韵一首寄去,亦告不以示人也。"

# 水调歌头

丙辰中秋, 欢饮达旦。大醉, 作此篇。兼怀子由。

明月几时有。把酒问青天。不知天上宫阙,今夕是何年。我欲乘风归去,又 恐琼楼玉宇,高处不胜寒。起舞弄清影,何似在人间。 转朱阁,低绮 户,照无眠。不应有恨,何事长向别时圆。人有悲欢离合,月有阴晴圆缺, 此事古难全。但愿人长久,千里共婵娟。

[丙辰]:神宗熙宁九年(1076),苏轼时知密州。

### 【附录】

李白《把酒问月》: "青天有月来几时?我今停杯一问之。人攀明月不可得,月行却与人相随。皎如飞镜临丹阙,绿烟灭尽清辉发。但见宵从海上来,宁知晓向云间没。白兔捣药秋复春,姮娥孤栖与谁邻?今人不见古时月,今月曾经照古人。古人今人若流水,共看明月皆如此。唯愿当歌对酒时,月光长照金樽里。"

蔡绦《铁围山丛谈》卷四:"歌者袁绹,乃天宝之李龟年也。宣和间供奉九重,尝为吾言:东坡公昔与客游金山,适中秋夕,天宇四垂,一碧无际,加江流澒漫。俄月色如昼,遂共登金山山顶之妙高台,命绹歌其《水调歌头》曰:'明月几时有,把酒问青天。'歌罢,坡为起舞,而顾问曰:'此便是神仙矣。'吾谓文章人物,诚千载一时,后世安所得乎!"

# 念奴娇

#### 赤壁怀古

大江东去, 浪淘尽、千古风流人物。故垒西边, 人道是, 三国周郎赤壁。乱石崩云, 惊涛裂岸, 卷起千堆雪。江山如画, 一时多少豪杰。 遥想公瑾当年, 小乔初嫁了, 雄姿英发。羽扇纶巾, 谈笑间、樯橹灰飞烟灭。故国神游, 多情应笑我, 早生华发。人生如梦, 一尊还酹江月。

## 木兰花令

#### 次欧公西湖韵

霜余已失长淮阔。空听潺潺清颍咽。佳人犹唱醉翁词,四十三年如电 抹。 草头秋露流珠滑。三五盈盈还二八。与余同是识翁人,惟有西湖波 底月。

### 【附录】

傅干《注坡词》卷十一:"《本事曲集》云:汝阴西湖,胜绝名 天下,盖自欧阳永叔始。往岁子瞻自禁林出守,赏咏尤多,而去欧阳 公时已久,故其继和《木兰花》,有'四十三年如电抹'之句。二词 俱奇峭雅丽,如出一人,此所以中间歌咏,寂寥无闻也。"

### 西江月

#### 平山堂

[老仙翁]:指欧阳修。

# 临江仙

#### 夜归临泉

夜饮东坡醒复醉,归来仿佛三更。家童鼻息已雷鸣。敲门都不应,倚杖听江声。 长恨此身非我有,何时忘却营营。夜阑风静縠纹平。小舟从此逝, 江海寄余生。

[临皋]:在黄州(今湖北黄冈)南长江边。苏轼谪黄州初居定慧寺, 后迁临皋亭。

[长恨]二句:《庄子·知北游》:"舜问乎丞(舜之师)曰:'道可得而有乎?'曰:'汝身非汝有也,汝何得有夫道?'舜曰:'吾身非吾有也,孰有之哉?'曰:'是天地之委形也。'"

### 【附录】

叶梦得《避暑录话》卷上:"子瞻在黄州,病赤眼,逾月不出。或疑有他疾,过客遂传以为死矣。有语范景仁于许昌者,景仁绝不置疑,即举袂大恸,召子弟具金帛遣人赒其家子弟。徐言此传闻,未审,当先书以问其安否,得实吊恤之未晚。乃走仆以往,子瞻发书大笑。故后量移汝州,谢表有云'疾病连年,人皆相传为已死。'未

几,复与数客饮江上。夜归,江面际天,风露浩然,有当其意,乃作歌辞,所谓'夜阑风静縠纹平。小舟从此逝,江海寄余生'者。与客大歌数过而散。翌日,喧传子瞻夜作此辞,挂冠服江边,拏舟长啸去矣。郡守徐君猷闻之,惊且惧,以为州失罪人,急命驾往谒,则子瞻鼻鼾如雷犹未兴也。"

# 少年游

### 润州作, 代人寄远

去年相送,馀杭门外,飞雪似杨花。今年春尽,杨花似雪,犹不见还家。 对酒卷帘邀明月,风露透窗纱。恰似姮娥怜双燕,分明照、画梁斜。

## 定风波

三月七日,沙湖道中遇雨,雨具先去,同行皆狼狈,余独不觉。已而遂晴,故作此。

莫听穿林打叶声。何妨吟啸且徐行。竹杖芒鞋轻胜马。谁怕。一蓑烟雨任平生。 料峭春风吹酒醒。微冷。山头斜照却相迎。回首向来萧瑟处。归去。也无风雨也无晴。

### 望江南

春未老,风细柳斜斜。试上超然台上看,半壕春水一城花。烟雨暗千家。 寒食后,酒醒却咨嗟。休对故人思故国,且将新火试新茶。诗酒趁年华。

# 卜算子

#### 黄州定惠院寓居作

缺月挂疏桐,漏断人初静。谁见幽人独往来,缥缈孤鸿影。 惊起却回 头,有恨无人省。拣尽寒枝不肯栖,寂寞沙洲冷。

#### 【附录】

黄庭坚《跋东坡乐府》:"东坡道人在黄州时作,语意高妙,似非吃烟火食人语。非胸中有万卷书,笔下无一点尘俗气,孰能至此。"

### 江城子

湖上与张先同赋, 时闻弹筝。

凤凰山下雨初晴。水风清,晚霞明。一朵芙蕖开过尚盈盈。何处飞来双白鹭,如有意,慕娉婷。 忽闻江上弄哀筝。苦含情。遣谁听。烟敛云收,依约是湘灵。欲待曲终寻问取,人不见,数峰青。

### 江城子

#### 乙卯正月二十日记梦

十年生死两茫茫。不思量。自难忘。千里孤坟,无处话凄凉。纵使相逢应不识,尘满面,鬓如霜。 夜来幽梦忽还乡。小轩窗,正梳妆。相顾无言,惟有泪千行。料得年年肠断处,明月夜,短松冈。

## 江城子

### 密州出猎

老夫聊发少年狂。左牵黄。右擎苍。锦帽貂裘,千骑卷平冈。为报倾城随太守,亲射虎,看孙郎。 酒酣胸胆尚开张。鬓微霜。又何妨。持节云中,何日遣冯唐。会挽雕弓如满月,西北望,射天狼。

### 蝶恋花

花褪残红青杏小。燕子飞时,绿水人家绕。枝上柳绵吹又少。天涯何处无芳草。 墙里秋千墙外道。墙外行人,墙里佳人笑。笑渐不闻声渐悄。多情却被无情恼。

#### 【附录】

《楚辞·离骚》: "思九州岛之博大兮,岂惟是其有女。曰勉远逝而无狐疑兮,孰求美而释女。何所独无芳草兮,尔何怀乎故宇。"朱熹集注: "美女以比贤君,求美以比求贤夫。言天下之大,非独楚有美女,但当远逝而无疑,岂有美女求贤夫而舍汝者乎。'何所独无芳草',即上章'岂惟是其有女'之意,又申言之而勉其行。"

《说郛》卷八十四下《林下诗谈》:"子瞻在惠州,与朝云闲坐。时青女初至,落木萧萧,凄然有悲秋之意,命朝云把大白唱'花褪残红'。朝云歌喉将啭,泪满衣襟。子瞻诘其故,答曰:'奴所不能歌是枝上柳绵吹又少.天涯何处无芳草也。'子瞻翻然大笑.曰:

'是吾政悲秋,而汝又伤春矣。'遂罢。朝云不久抱疾而亡。子瞻终 身不复听此词。"

## 永遇乐

彭城夜宿燕子楼, 梦盼盼, 因作此词。

明月如霜,好风如水,清景无限。曲港跳鱼,圆荷泻露,寂寞无人 见。紞如三鼓,铿然一叶,黯黯梦云惊断。夜茫茫,重寻无处,觉来小园行 遍。 天涯倦客,山中归路,望断故园心眼。燕子楼空,佳人何在,空锁 楼中燕。古今如梦,何曾梦觉,但有旧欢新怨。异时对、黄楼夜景,为余浩 叹。

「紞]:击鼓声。

[燕子楼]:白居易《燕子楼诗序》:张建封守徐州,"有爱妓曰盼盼,善歌舞,雅多风态"。张卒后,"归葬东洛,而彭城有张氏旧第,第中有小楼名燕子。盼盼念旧爱而不嫁,居是楼十余年,幽独块然。"一说盼盼为张建封之子张愔侍妾。

[黄楼]:苏轼知徐州时遇黄河泛滥,曾亲率民众抗洪。洪水退去后建黄楼以纪念,并请苏辙为之记。

#### 【附录】

曾敏行《独醒杂志》卷三: "东坡守徐州,作《燕子楼》乐章, 方具稿,人未知之,一日忽哄传城中。东坡讶焉,诘其所从来,乃谓 发端于逻卒。东坡召而问之,对曰: '某稍知音律,尝夜宿张建封 庙,有歌声,细听之,乃此词也,记而传之,初不知何谓。'东坡笑 而遣之。"

黄升《花庵词选》卷二云: "后秦少游自会稽入京,见东坡。坡云: 久别当作文甚胜,都下盛唱公'山抹微云'之词。秦逊谢。坡遽云: 不意别后公却学柳七作词。秦答曰: 某虽无识,亦不至是。先生之言无乃过乎。坡云: '销魂当此际',非柳词句法乎?秦惭服,然已流传,不复可改矣。又问: 别作何词?秦举'小楼连苑横空,下窥绣毂雕鞍骤。'坡云: '十三个字只说得一个人骑马楼前过。'秦问: 先生近著?坡云: 亦有一词说楼上事。乃举'燕子楼空,佳人何在?空锁楼中燕。' 晁无咎在座,云: 三句说尽张建封燕子楼一段事,奇哉。"

## 行香子

### 过七里濑

一叶舟轻。双桨鸿惊。水天清、影湛波平。鱼翻藻鉴,鹭点烟汀。过沙溪 急,霜溪冷,月溪明。 重重似画,曲曲如屏。算当年、虚老严陵。君臣 一梦,今古空名。但远山长,云山乱,晓山青。

[七里濑]:又名七里滩,在今浙江省桐庐县城南三十里,富春江上的著名滩头。

[严陵]: 严光, 字子陵, 会稽余姚人, 东汉隐士, 屡召不起, 垂钓于富春江上。

## 洞仙歌

仆七岁时,见眉州老尼,姓朱,忘其名,年九十岁。自言尝随其师入蜀主孟昶宫中,一日大热,蜀主与花蕊夫人夜纳凉摩诃池上,作一词,朱具能记之。今四十年,朱已死久矣,人无知此词者,但记其首两句,暇日寻味,岂《洞仙歌》令乎?乃为足之云。

冰肌玉骨,自清凉无汗。水殿风来暗香满。绣帘开,一点明月窥人,人未寝,欹枕钗横鬓乱。 起来携素手,庭户无声,时见疏星渡河汉。试问夜如何,夜已三更,金波淡,玉绳低转。但屈指、西风几时来,又不道、流年暗中偷换。

[金波]:月光。

[玉绳]: 北斗第五星。

# 千秋岁

#### 次韵少游

岛边天外,未老身先退。 珠泪溅,丹衷碎。声摇苍玉佩,色重黄金带。一万里,斜阳正与长安对。 道远谁云会,罪大天能盖。君命重,臣节在。新恩犹可觊,旧学终难改。吾已矣,乘桴且恁浮于海。

# 李之仪

李之仪(1038—1117),字端叔,号姑溪居士,沧州无棣(今属山东) 人。神宗熙宁六年(1073)进士。元丰六年(1083),曾辟为祭奠高丽国使 书状官。哲宗绍圣初,苏轼知定州,辟为管勾机宜文字。四年(1097),因 折可适兵败事连累,罢原州通判。后以元祐党籍贬惠州。元符元年(1098) 召监内香药库,旋因从苏轼辟事勒停。徽宗崇宁初提举河东常平,又以代作 范纯仁遗表忤蔡京,编管太平州,遂居姑熟。久之,徙唐州。官终朝请大 夫。有《姑溪居士前集》五十卷,《后集》二十卷。《宋史》卷三四四有 传。词作收于文集中,存词九十余首。

### ト算子

我住长江头,君住长江尾。日日思君不见君,共饮长江水。 此水几时休,此恨何时已。只愿君心似我心,定不负、相思意。

#### 【附录】

姚合《送薛二十三郎中赴婺州》诗:"我住浙江西,君去浙江东。日日心来往,不畏浙江风。"

# 黄庭坚

黄庭坚(1045 — 1105),字鲁直,自号山谷道人,又号涪翁。洪州分宁(今江西修水)人。英宗治平四年(1067)登进士第。神宗熙宁五年(1072)除北京(今河北大名)国子监教授。元丰三年(1080)知吉州太和县(今江西泰和)。哲宗立,召为校书郎,旋任《神宗实录》检讨官。元祐六年(1091),《神宗实录》成,擢起居舍人,秘书丞。绍圣二年(1095),以元祐党人贬涪州(今四川涪陵)别驾,黔州(今四川彭水)安置。元符三年(1100),徽宗即位,召还。崇宁元年(1102)六月,领太平州(今安徽当涂)事,到任九年,即遭罢免。二年十一月,以文字罪除名,羁管宜州(今广西宜山)。崇宁四年,卒于贬所。私谥文节先生。《宋史》卷四四有传。今传《山谷集》七十卷。黄庭坚为北宋著名诗人,江西诗派创始人。诗与东坡并称苏、黄,词与秦观并称"秦七、黄九",词风疏宕,有着明显的

前后差异。词未入文集,见《山谷琴趣外编》三卷,存词一百七十余首,有今人马兴荣、祝振玉校注本。

# 水调歌头

### 游览

瑶草一何碧,春入武陵溪。溪上桃花无数,花上有黄鹂。我欲穿花寻路,直入白云深处,浩气展虹霓。只恐花深里,红露湿人衣。 坐玉石,欹玉枕,拂金徽。谪仙何处,无人伴我白螺杯。我为灵芝仙草,不为朱唇丹脸,长啸亦何为。醉舞下山去,明月逐人归。

[金徽]: 用金属镶嵌的琴面音位标识, 遂成琴之借代。

[谪仙]:泛指下凡的仙人。

### 清平乐

春归何处。寂寞无行路。若有人知春去处。唤取归来同住。 春无踪迹谁知。除非问取黄鹂。百啭无人能解,因风飞过蔷薇。

# 晁端礼

晁端礼(1046-1113),字次膺,济州巨野(今属山东)人。神宗熙宁 六年(1073)进士,任单州城武主簿,瀛州防御推官,历知平恩县、莘县。 忤上官,坐事罢职。徽宗政和初,以承事郎为大晟府制撰协律,至京未逾月 而卒。有词集《闲斋琴曲外篇》六卷,存词一百三十余首。

## 行香子

别恨绵绵。屈指三年。再相逢、情分依然。君初霜鬓,我已华颠。况其间有,多少恨,不堪言。 小庭幽槛,菊蕊阑斑。近清宵、月已婵娟。莫思身外,且鬥尊前。愿花长好,人长健,月长圆。

[阑斑]: 色彩错杂而鲜明。

## 鹧鸪天

金碧觚棱斗极边。集英深殿听胪传。齐开雉扇双分影,不动金炉一喷烟。 红锦地,碧罗天。升平楼上语喧喧。依稀曾听钧天奏,耳冷人间四十年。

### 黄河清

晴景初升风细细。云收天淡如洗。望外凤凰双阙,葱葱佳气。朝罢香烟满袖,近臣报、天颜有喜。夜来联得对章,奏大河、彻底清泚。 君王寿与天齐,馨香动上穹,频降嘉瑞。大晟奏功,六乐初调清徵。合殿春风乍转,万花覆、千官尽醉。内家传敕,重开宴、未央宫里。

### 【附录】

蔡條《铁围山丛谈》卷二: "又有晁次膺者,先在韩师朴丞相中秋坐上,作听琵琶词。为世所重。又有一曲曰'深院锁春风,悄无人,桃李自笑。'亦歌之。遂入大晟,亦为制撰。时燕乐初成,八音告备,因作《徵招》《角招》,有曲名《黄河清》《寿星明》,二者音调极韵美。次膺作一词曰:'晴景初升风细细·····'时天下无问遐迩小大,虽伟男髫女,皆争气唱之。"

# 秦观

秦观(1049 — 1100),字太虚,后改字少游,别号邗沟居士,世称淮海先生,江苏高邮人。神宗元丰八年(1085)进士,授蔡州教授。哲宗元祐初入京。二年,应贤良方正能直言极谏科,未第。五年,召为秘书省校对黄本书籍。六年,迁秘书省正字,兼国史院编修官。绍圣元年(1094),坐党籍,出为杭州通判,道贬监处州酒税。三年,削秩徙郴州。四年,编管横州。元符元年(1098),遭除名,移雷州。三年,放还,至藤州(今广西藤县)而卒。《宋史》卷四四百传。有《淮海集》四十卷,《后集》六卷,长短句三卷。其词情韵兼胜,存百余首。今人徐培均有笺注本。

### 望海潮

梅英疏淡,冰澌溶泄,东风暗换年华。金谷俊游,铜驼巷陌,新晴细履平沙。长记误随车。正絮翻蝶舞,芳思交加。柳下桃蹊,乱分春色到人家。 西园夜饮鸣笳。有华灯碍月,飞盖妨花。兰苑未空,行人渐老,重来是事堪嗟。烟暝酒旗斜。但倚楼极目,时见栖鸦。无奈归心,暗随流水到天涯。

[铜驼]: 东汉洛阳宫南门道口有二铜铸骆驼夹道相对, 称铜驼街。后代指京城御街。

[西园]: 王诜在开封的私家园林。元祐年间,苏轼、苏辙、黄庭坚、 秦观等十七人于此雅集,李公麟绘有《西园雅集图》以记此盛会。

## 八六子

倚危亭。恨如芳草,萋萋刬尽还生。念柳外青骢别后,水边红袂分时,怆然暗惊。 无端天与娉婷。夜月一帘幽梦,春风十里柔情。怎奈向、欢娱渐随流水,素弦声断,翠绡香减,那堪片片飞花弄晚,濛濛残雨笼晴。正销凝。黄鹂又啼数声。

[刬尽]:消除净尽。即"野火烧不尽,春风吹又生"之意。

[销凝]:因伤感而凝神之状。

# 满庭芳

山抹微云,天连衰草,画角声断谯门。暂停征棹,聊共引离尊。多少蓬莱旧事,空回首、烟霭纷纷。斜阳外,寒鸦数点,流水绕孤村。 销魂。当此际,香囊暗解,罗带轻分。谩赢得、青楼薄幸名存。此去何时见也,襟袖上、空惹啼痕。伤情处,高城望断,灯火已黄昏。

#### 【附录】

胡仔《苕溪渔隐丛话》后集卷三十三引《艺苑雌黄》云: "程公闢守会稽, 少游客焉, 馆之蓬莱阁。一日, 席上有所悦, 自尔眷眷, 不能忘情, 因赋长短句, 所谓'多少蓬莱旧事, 空回首, 烟霭纷纷'也。其词极为东坡所称道, 取其首句呼之为'山抹微云君'。"

蔡條《铁围山丛谈》卷四:"(范)温,字符实,与吾善。……温尝预贵人家,会贵人有侍儿,喜歌秦少游长短句。坐间略不顾。温亦谨不敢吐一语。及酒酣欢洽,侍儿者始问:'此郎何人邪?'温遽起叉手而对曰:'某乃山抹微云女婿也。'闻者多绝倒。"

吴曾《能改斋漫录》卷十六:"杭之西湖有一倅闲唱少游《满庭芳》,偶然误举一韵云'画角声断斜阳'。妓琴操在侧,云'画角声断谯门,非斜阳也。'倅因戏之曰:'尔可改韵否?'琴即改作阳字韵云:'山抹微云,天连衰草,画角声断斜阳。暂停征辔,聊共饮离觞。多少蓬莱旧侣,频回首,烟霭茫茫。孤村里,寒鸦万点,流水绕低墙。 魂伤。当此际,轻分罗带,暗解香囊。漫赢得、秦楼薄幸名狂。此去何时见也,襟袖上、空有余香。伤心处,长城望断,灯火已昏黄。'东坡闻而称赏之。"

## 江城子

西城杨柳弄春柔。动离忧。泪难收。犹记多情,曾为系归舟。碧野朱桥当日事,人不见,水空流。 韶华不为少年留。恨悠悠。几时休。飞絮落花时候一登楼。便做春江都是泪,流不尽,许多愁。

## 鹊桥仙

纤云弄巧,飞星传恨,银汉迢迢暗度。金风玉露一相逢,便胜却、人间无数。 柔情似水,佳期如梦,忍顾鹊桥归路。两情若是久长时,又岂在、朝朝暮暮。

# 浣溪沙

漠漠轻寒上小楼。晓阴无赖似穷秋。淡烟流水画屏幽。 自在飞花轻似 梦,无边丝雨细如愁。宝帘闲挂小银钩。

### 踏莎行

雾失楼台,月迷津渡。桃源望断无寻处。可堪孤馆闭春寒,杜鹃声里斜阳暮。 驿寄梅花,鱼传尺素。砌成此恨无重数。郴江幸自绕郴山,为谁流下潇湘去。

#### 【附录】

胡仔《苕溪渔隐丛话》前集卷五十引《冷斋夜话》云:"少游到郴州,作长短句云:'雾失楼台……。'东坡绝爱其尾两句,自书于扇,曰:'少游已矣,虽万人何赎!'"

洪迈《夷坚志》已集: "秦少游南迁,至长沙。有妓生平酷爱秦学士词,至是知其为少游,请于其母,愿托以终身。少游赠词所谓

'郴江幸自绕郴山,为谁流下潇湘去'者也。念时事严切,不敢偕往 贬所。及少游卒于藤,丧还,将至长沙。妓前一夜得诸梦,即逆于途,祭毕,归而自缢。"

# 好事近

### 梦中作

春路雨添花,花动一山春色。行到小溪深处,有黄鹂千百。 飞云当面化 龙蛇,夭矫转空碧。醉卧古藤阴下,了不知南北。

#### 【附录】

胡仔《苕溪渔隐丛话》前集卷五十引《冷斋夜话》: "秦少游在处州,梦中作长短句曰:'山路雨添花,……'后南迁,久之,北归,逗留于藤州,遂终于瘴江之上光华亭。时方醉起,以玉盂汲泉欲饮,笑视之而化。"

## 千秋岁

水边沙外,城郭春寒退。花影乱,莺声碎。飘零疏酒盏,离别宽衣带。人不见,碧云暮合空相对。 忆昔西池会,鹓鹭同飞盖。携手处,今谁在。日边清梦断,镜里朱颜改。春去也,飞红万点愁如海。

[西池]: 开封金明池, 为皇家园池。

[鹓鹭]句:喻朝官行列。

#### 【附录】

曾敏行《独醒杂志》卷五: "秦少游谪古藤,意忽忽不乐,过衡阳,孔毅甫为守,与之厚,延留待遇有加。一日,饮于郡斋,少游作《千秋岁》词,毅甫览至'镜里朱颜改'之句,遽惊曰:'少游盛年,何为言语悲怆如此!'遂赓其韵以解之。居数日别去。毅甫送之于郊,复相语终日。归谓所亲曰:'秦少游气貌大不类平时,殆不久于世矣。'未几果卒。"

# 贺铸

贺铸(1052-1125),字方回,晚号庆湖遗老、北宗狂客。卫州共城(今河南辉县)人,祖籍山阴(今浙江绍兴),认贺知章为远祖,故自称越人。为宋太祖孝惠后族孙,家道没落,仕宦沉沦。初以祖荫为右班殿直,监军器库门。哲宗元祐七年(1092),以李清臣、苏轼等荐,改换文资。徽宗崇宁元年(1102),通判泗州,四年改判太平州。大观三年(1109)以承议郎致仕,退居苏、常。《宋史》卷四四三有传。贺铸才兼文武,秉性刚直,不阿权贵。其词题材多样,风格兼有豪放、婉约之长,尤善于融化前人成句。自编《庆湖遗老诗集》前后集,今有前集传世。词集有《东山词》二卷,今残存一卷;《贺方回词》二卷,今存。共存词二百八十余首,今人钟振振汇辑校注。

# 半死桐(思越人,亦名鹧鸪天)

重过阊门万事非。同来何事不同归。梧桐半死清霜后,头白鸳鸯失伴 飞。 原上草,露初晞。旧栖新垄两依依。空床卧听南窗雨,谁复挑灯夜 补衣。

[阊门]: 苏州西城门。

[梧桐]句:枚乘《七发》:"龙门之桐,……其根半死半生。"白居 易《为薛台悼亡》:"半死梧桐老病身。"

# 杵声齐 (古捣练子)

砧面莹,杵声齐。捣就征衣泪墨题。寄到玉关应万里,戍人犹在玉关西。

#### 【附录】

杨万里《颐庵诗稿序》:"至于荼也,人病其苦也,然苦未既而不胜其甘。诗亦如是而已矣。……三百篇之后,此味绝矣,惟晚唐诸子差近之。《寄边衣》曰:'寄到玉关应万里,戍人犹在玉关西。'三百篇之遗味,黯然犹存也。"

## 芳心苦(踏莎行)

杨柳回塘,鸳鸯别浦。绿萍涨断莲舟路。断无蜂蝶慕幽香,红衣脱尽芳心苦。 返照迎潮,行云带雨。依依似与骚人语。当年不肯嫁春风,无端却被秋风误。

## 行路难(小梅花)

缚虎手。悬河口。车如鸡栖马如狗。白纶巾。扑黄尘。不知我辈,可是蓬蒿人。衰兰送客咸阳道。天若有情天亦老。作雷颠。不论钱。谁问旗亭,美酒斗十千。 酌大斗。更为寿。青鬓常青古无有。笑嫣然。舞翩然。当垆秦女,十五语如弦。遗音能记秋风曲。事去千年犹恨促。揽流光。系扶桑。争奈愁来,一日却为长。

[作雷颠]二句:《后汉书·独行列传》:"雷义字仲公,豫章鄱阳人也。初为郡功曹,尝擢举善人,不伐其功。义尝济人死罪,罪者后以金二斤谢之,义不受,金主伺义不在,默投金于承尘上。后葺理屋宇、乃得之、金主已死、无所复还、义乃以付县曹。"

# 台城游(水调歌头)

南国本潇洒, 六代浸豪奢。台城游冶, 襞笺能赋属宫娃。云观登临清夏, 璧月留连长夜, 吟醉送年华。回首飞鸳瓦, 却羡井中蛙。 访乌衣, 成白社, 不容车。旧时王谢, 堂前双燕过谁家。楼外河横斗挂, 淮上潮平霜下, 樯影落寒沙。商女篷窗罅, 犹唱后庭花。

[乌衣]: 乌衣巷。东晋时为王谢贵族聚居之地。

[白社]: 西晋高士董京常于洛阳白社乞讨,遂成贫民区之代称。

「罅】: 缝隙。

# 横塘路(青玉案)

凌波不过横塘路。但目送, 芳尘去。锦瑟华年谁与度。月桥花院, 琐窗朱户。只有春知处。 飞云冉冉蘅皋暮。彩笔新题断肠句。试问闲愁都几许。一川烟草,满城风絮。梅子黄时雨。

#### 【附录】

周紫芝《竹坡诗话》:"贺方回尝作《青玉案》词有'梅子黄时雨'之句。人皆服其工、士大夫谓之'贺梅子'。"

魏庆之《诗人玉屑》卷二十一引《冷斋夜话》云:黄庭坚手写贺铸《青玉案》,"置之几研间,时自玩味",云:"此词少游能道之。"作小诗曰:"少游醉卧古藤下,无复愁眉唱一杯。解道江南断肠句,而今唯有贺方回。"

# 减字浣溪沙

[灯夜]:即元夕。

# 六州歌头

少年侠气,交结五都雄。肝胆洞。毛发耸。立谈中。死生同。一诺千金重。推翘勇。矜豪纵。轻盖拥。联飞鞚。斗城东。轰饮酒垆,春色浮寒瓮。吸海垂虹。闲呼鹰嗾犬,白羽摘雕弓。狡穴俄空。乐匆匆。 似黄粱梦。辞丹凤。明月共。漾孤篷。官冗從。怀倥偬。落尘笼。簿书丛。鹖弁如云众。供粗用。忽奇功。笳鼓动。渔阳弄。思悲翁。不请长缨,系取天骄种。剑吼西风。恨登山临水,手寄七弦桐。目送归鸿。

[五都雄]: 东汉以洛阳、邯郸、临淄、宛、成都为五都, 市井间多豪侠, 故云五都雄。此处代指北宋诸城市中的豪侠。

[肝胆洞]: 即肝胆相照。

[飞鞚]: 鞚,带嚼子的马笼头。飞鞚即代指奔驰的骏马。

[斗城]:西汉长安城南似南斗之状,城北似北斗之形,故俗呼之斗城。此处代指北宋东京开封。

[吸海垂虹]:比喻狂放的饮酒姿态。

[丹凤]: 唐大明宫正南门为丹凤门, 代指北宋都城正门端门。

[冗从]: 低等官阶。

[倥偬]:事务繁多而忙碌貌。

[簿书丛]:繁多的官府文书。

[鹖弁]: 武将所戴官帽。

[忽奇功]: 战功难立。

[七弦桐]:琴有五弦七弦,上等者由桐木制成。嵇康《送秀才入

军》:"目送归鸿,手挥五弦。"

# 仲殊

仲殊,字师利,安州(今湖北安陆)人。俗姓张,名挥。因妻投毒,食蜜而愈,遂弃家为僧,人号蜜殊。住苏州承天、杭州吴山宝月等寺。与苏轼交甚善。徽宗崇宁中卒。有《宝月集》,已佚。词集原七卷,亦散,今存七十余首。

### 南歌子

十里青山远,潮平路带沙。数声啼鸟怨年华。又是凄凉时候、在天涯。 白露收残暑,清风衬晚霞。绿杨堤畔闹荷花。记得年时沽酒、那人家。

### 诉衷情

#### 宝月山作

清波门外拥轻衣。杨花相送飞。西湖又还春晚,水树乱莺啼。 闲院宇, 小帘帏。晚初归。钟声已过,篆香才点,月到门时。

#### 【附录】

黄昇《唐宋诸贤绝妙词选》卷九:"仲殊之词多矣。佳者固不少,而小令为最。小令之中,《诉衷情》一调又其最,盖篇篇奇丽,字字清婉,高处不减唐人风致也。"

# 晁补之

晁补之(1053 - 1110),字无咎,号归来子。济州巨野(今属山东)人。神宗元丰二年(1079)进士及第,调澶州司户参军。召试学官,除北京国子监教授,迁太学正。哲宗元祐初,召试学士院,以秘阁校理通判扬州,迁知齐州。与黄庭坚等并称苏门四学士。绍圣元年(1094),坐党籍累贬监信州酒税。徽宗即位,召为著作佐郎,擢吏部郎中。出知河中府,徙湖州、密州。崇宁间党论复起,奉祠禄居家,葺归来园,慕晋陶潜为人。《宋史》卷四四

四有传。有《鸡肋集》七十卷。晁补之词风沉郁,今存《晁氏琴趣外篇》六卷,存词一百六十余首,有今人刘乃昌、杨庆存校注本。

### 摸鱼儿

#### 东皋寓居

买陂塘、旋栽杨柳,依稀淮岸江浦。东皋嘉雨新痕涨,沙嘴鹭来鸥聚。堪爱处,最好是、一川夜月光流渚。无人独舞。任翠幄张天,柔茵藉地,酒尽未能去。 青绫被,莫忆金闺故步。儒冠曾把身误。弓刀千骑成何事,荒了邵平瓜圃。君试觑,满青镜、星星鬓影今如许。功名浪语。便似得班超,封侯万里,归计恐迟暮。

[邵平]句:秦东陵侯邵平,汉时后沦为贫民,种瓜长安城东。

[便得似]三句:东汉班超远征西域,封定远侯,年老思乡,上书曰: "臣不敢望到酒泉郡,但愿生入玉门关。"

## 梁州令叠韵

田野闲来惯。睡起初惊晓燕。樵青走挂小帘钩,南园昨夜,细雨红芳遍。 平芜一带烟光浅。过尽南归雁。俱远。凭栏送目空肠断。 好景难常占。过眼韶华如箭。莫教鶗鴂送韶华,多情杨柳,为把长条绊。 清樽满酌谁为伴。花下提壶劝。何妨醉卧花底,愁容不上春风面。

[樵青]: 颜真卿《浪迹先生玄真子张志和碑》: "肃宗尝锡奴婢各一,玄真配为夫妻,名夫曰渔僮,妻曰樵青。"

# 周邦彦

周邦彦(1056—1121),字美成,号清真居士,钱塘(今浙江杭州)人。 疏隽少检,博涉百家。元丰二年(1079)入太学,六年以太学诸生献《汴都赋》,神宗异之,次年命为学正。哲宗元祐二年(1086),出为庐州(今安徽合肥)教授。元祐八年,知溧水县(今属江苏)。绍圣末,还为国子监主簿。元符元年(1098),再进《汴都赋》,获哲宗赏识,除秘书省正字。徽宗即位,迁校书郎。崇宁三年(1104),迁考功员外郎。大观元年(1107),迁卫尉宗正少卿,兼议礼局检讨,参与修撰《政和五礼新仪》。 政和元年(1111),以直龙图阁知河中府,未赴,次年改知隆德军(今山西长治)。五年,迁知明州(今浙江宁波)。六年,还京为秘书监。重和元年(1118),以徽猷阁待制知真定府(今河北正定),改顺昌府(今安徽阜阳)。宣和二年(1120),徙知处州(今浙江丽水),遇方腊起义,道梗不赴。旋罢。《宋史》卷四四四有传。周邦彦精通音律,能自度曲,家有顾曲堂,多创新调,律吕谐切,典丽精工,尤善于融化唐人诗句入律,负有宋一代词名。有文集《清真居士集》二十四卷,今佚。词集《片玉集》今传,南宋陈元龙即为之笺注,共收词二百零六首,又名《清真集》。今人罗杭烈有笺注本,孙虹、薛瑞生有校注本。

### 瑞龙吟

章台路。还见褪粉梅梢,试花桃树。愔愔坊陌人家,定巢燕子,归来旧处。 黯凝伫。因念个人痴小,乍窥门户。侵晨浅约宫黄,障风映袖,盈盈笑语。 前度刘郎重到,访邻寻里,同时歌舞。惟有旧家秋娘,声价如故。吟笺赋笔,犹记燕台句。知谁伴、名园露饮,东城闲步。事与孤鸿去。探春尽是,伤离意绪。官柳低金缕。归骑晚,纤纤池塘飞雨。断肠院落,一帘风絮。

[刘郎]:刘禹锡《再游玄都观》:"种桃道士归何处,前度刘郎今又来。"

[燕台]句:唐洛阳女子柳枝听人吟李商隐《燕台诗》而慕其才华。

[事与]句:杜牧《题安州浮云寺楼》:"恨如春草多,事与孤鸿去。"

#### 西平乐

元丰初,予以布衣西上,过天长道中。后四十余年,辛丑正月,避贼复游故地。感叹岁月.偶成此词。

稚柳苏晴,故溪歇雨,川迥未觉春赊。驼褐寒侵,正怜初日,轻阴抵死须遮。叹事逐孤鸿尽去,身与塘蒲共晚,争知向此,征途迢递,伫立尘沙。念朱颜翠发,曾到处,故地使人嗟。 道连三楚,天低四野,乔木依前,临路敧斜。重慕想、东陵晦迹,彭泽归来,左右琴书自乐,松菊相依,何况风流鬓未华。多谢故人,亲驰郑驿,时倒融尊,劝此淹留,共过芳时,翻令倦客思家。

#### 忆旧游

记愁横浅黛,泪洗红铅,门掩秋宵。坠叶惊离思,听寒蛩夜泣,乱雨潇潇。 凤钗半脱云鬓,窗影烛光摇。渐暗竹敲凉,疏萤照晚,两地魂消。 迢 迢,问音信,道径底花阴,时认鸣镳。也拟临朱户,叹因郎憔悴,羞见郎 招。旧巢更有新燕,杨柳拂河桥。但满目京尘,东风竟日吹露桃。

#### 望江南

游妓散,独自绕回堤。芳草怀烟迷水曲,密云衔雨暗城西。九陌未霑泥。 桃李下,春晚未成蹊。墙外见花寻路转,柳阴行马过莺啼。无处不凄凄。

### 满庭芳

#### 夏日溧水无想山作

风老莺雏,雨肥梅子,午阴嘉树清圆。地卑山近,衣润费炉烟。人静乌鸢自乐,小桥外,新绿溅溅。凭阑久,黄芦苦竹,疑泛九江船。 年年,如社燕。飘流瀚海,来寄修椽。且莫思身外,长近尊前。憔悴江南倦客,不堪听、急管繁弦。歌筵畔,先安簟枕,容我醉时眠。

[黄芦]二句:白居易《琵琶行》:"住近湓江地低湿,黄芦苦竹绕宅生。"

[且莫思身外]二句:杜甫《绝句漫兴》:"莫思身外无穷事,且尽生前有限杯。"

[修椽]:修、长也。修椽即长屋梁。

## 苏幕遮

燎沉香,消溽暑。鸟雀呼晴,侵晓窥檐语。叶上初阳干宿雨。水面清圆,一一风荷举。 故乡遥,何日去。家住吴门,久作长安旅。五月渔郎相忆 否。小楫轻舟,梦入芙蓉浦。

## 解语花

#### 上元

风消焰蜡,露浥红莲,花市光相射。桂华流瓦。纤云散,耿耿素娥欲下。衣裳淡雅。看楚女纤腰一把。箫鼓喧,人影参差,满路飘香麝。 因念都城

放夜。望千门如昼,嬉笑游冶。钿车罗帕。相逢处,自有暗尘随马。年光是也。唯只见、旧情衰谢。清漏移,飞盖归来,从舞休歌罢。

## 六丑

#### 蔷薇谢后作

正单衣试酒,怅客里、光阴虚掷。愿春暂留,春归如过翼,一去无迹。为问花何在,夜来风雨,葬楚宫倾国。钗钿堕处遗香泽。乱点桃蹊,轻翻柳陌。 多情更谁追惜。但蜂媒蝶使,时叩窗隔。 东园岑寂。渐蒙笼暗碧。静绕珍丛底,成叹息。长条故惹行客,似牵衣待话,别情无极。残英小、强簪巾帻。终不似、一朵钗头颤袅,向人欹侧。漂流处、莫趁潮汐。恐断红、尚有相思字,何由见得。

### 拜星月

#### 高平秋思

夜色催更,清尘收露,小曲幽坊月暗。竹槛灯窗,识秋娘庭院。笑相遇,似觉琼枝玉树,暖日明霞光烂。水眄兰情,总平生稀见。 画图中、旧识春风面。谁知道、自到瑶台畔。眷恋雨润云温,苦惊风吹散。念荒寒、寄宿无人馆。重门闭、败壁秋虫叹。怎奈向、一缕相思,隔溪山不断。

### 风流子

新绿小池塘。风帘动、碎影舞斜阳。羡金屋去来,旧时巢燕, 土花缭绕, 前度莓墙。绣阁里, 凤帏深几许, 听得理丝簧。欲说又休, 虑乖芳信, 未歌先咽, 愁转清商。 遥知新妆了, 开朱户、应自待月西厢。最苦梦魂, 今宵不到伊行。问甚时说与, 佳音密耗, 寄将秦镜, 偷换韩香。天便教人, 霎时厮见何妨。

## 少年游

并刀如水,吴盐胜雪,纤指破新橙。锦幄初温,兽香不断,相对坐吹笙。 低声问、向谁行宿,城上已三更。马滑霜浓,不如休去,直是少人行。

[谁行]: 犹言谁家。

#### 兰陵王

柳

柳阴直。烟里丝丝弄碧。隋堤上,曾见几番,拂水飘绵送行色。登临望故国。谁识京华倦客。长亭路,年去岁来,应折柔条过千尺。 闲寻旧踪迹。又酒趁哀弦,灯照离席。梨花榆火催寒食。愁一箭风快,半篙波暖,回头迢递便数驿。望人在天北。 凄恻。恨堆积。渐别浦萦回,津堠岑寂。斜阳冉冉春无极。念月榭携手,露桥闻笛。沉思前事,似梦里,泪暗滴。

#### 【附录】

张端义《贵耳集》卷下:"道君幸李师师家,偶周邦彦先在焉。 知道君至,遂匿于床下。道君自携新橙一颗云:'江南初进来。'遂 与师师谑语。邦彦悉闻之,隐括成《少年游》……。李师师因歌此 词, 道君问谁作, 李师师奏云周邦彦词。道君大怒, 坐朝, 宣谕蔡京 云: '开封府有监税周邦彦者, 闻课额不登, 如何京尹不按发来?' 蔡京罔知所以,奏云:'容臣退朝呼京尹叩问,续得复奏。'京尹 至,蔡以御前圣旨谕之。京尹云:'惟周邦彦课额增羡。'蔡云: '上意如此,只得迁就。'将上,得旨:'周邦彦职事废弛,可日下 押出国门。'隔一二日,道君复幸李师师家,不见李师师。问其家, 知送周监税。道君方以邦彦出国门为喜, 既至不遇, 坐久, 至更初, 李始归、愁眉泪睫、憔悴可掬。道君大怒云: '尔去那里去?'李 奏:'臣妾万死。知周邦彦得罪,押出国门,略致一杯相别。不知官 家来。'道君问:'曾有词否?'李奏云:'有《兰陵王》词。'今 '柳阴直'者是也。道君云:'唱一遍看。'李奏云:'容臣妾奉一 杯, 歌此词为官家寿。'曲终, 道君大喜, 复召为大晟乐正, 后官至 大晟乐乐府待制。"

#### 西河

#### 金陵怀古

佳丽地。南朝盛事谁记。山围故国绕清江,髻鬟对起。怒涛寂寞打孤城,风樯遥度天际。 断崖树,犹倒倚。莫愁艇子曾系。空余旧迹郁苍苍,雾沉半垒。夜深月过女墙来,伤心东望淮水。 酒旗戏鼓甚处市。想依稀、王谢邻里。燕子不知何世。入寻常、巷陌人家,相对如说兴亡,斜阳里。

### 花犯

粉墙低,梅花照眼,依然旧风味。露痕轻缀。疑净洗铅华,无限佳丽。去年胜赏曾孤倚。冰盘同燕喜。更可惜,雪中高树,香篝熏素被。 今年对花最匆匆,相逢似有恨,依依愁悴。吟望久,青苔上、旋看飞坠。相将见、翠丸荐酒,人正在、空江烟浪里。但梦想、一枝潇洒,黄昏斜照水。

## 谢逸

谢逸(1068-1112),字无逸,号溪堂居士,临川人。少孤,操履峻洁,博学工文辞,以咏蝴蝶诗三百首著名,人称谢蝴蝶。屡举不第,遂绝意仕进,以布衣终老。有词集《溪堂词》一卷,存词六十二首,标致隽永,轻倩可人。

### 江神子

杏花村馆酒旗风。水溶溶。飏残红。野渡舟横,杨柳绿阴浓。望断江南山色远,人不见,草连空。 夕阳楼外晚烟笼。粉香融。淡眉峰。记得年时,相见画屏中。只有关山今夜月,千里外,素光同。

#### 【附录】

胡仔《苕溪渔隐丛话》后集卷三十三引《复斋漫录》: "无逸尝于黄州关山杏花村馆驿题《江城子》词,云:'……'过者必索笔于馆卒,卒颇以为苦,因以泥涂之。"

# 晁冲之

晁冲之,字叔用,一作用道,济州钜野(今山东巨野)人。说之、补之从弟,晁公武之父。晁氏以文学世家,冲之举进士未第,授承务郎。哲宗绍圣党事起,说之、补之具罹党籍,冲之独隐居具茨山(在今河南禹县)

下,世称具茨先生。政和间,为大晟府丞。有《晁具茨先生诗集》。词集 《晁叔用词》已佚,今辑得十六首。

### 临江仙

忆昔西池池上饮,年年多少欢娱。别来不寄一行书。寻常相见了,犹道不如初。 安稳锦屏今夜梦,月明好度江湖。相思休问定何如。情知春去后,管得落花无。

# 叶梦得

叶梦得(1077—1148),字少蕴,号石林居士,吴县(今属江苏苏州)人,居乌程(今浙江湖州)。绍圣四年(1097)进士。徽宗大观元年(1107),除起居郎。二年,迁翰林学士。三年,出知汝州,寻落职。政和五年(1115),起知蔡州,移帅颍昌府。忤杨戬、李彦,提举鸿庆宫。钦宗靖康元年(1126),起知杭州。高宗建炎二年(1128),为翰林学士兼侍读,次年罢归。绍兴元年(1131),起为江东安抚大使兼知建康府,兼寿春等六州宣抚使,总四路漕计,赞助抗金。十二年冬,移知福州,兼福建安抚使。十四年请老。《宋史》卷四四五有传。叶梦得词风简淡,感怀国事之作多雄杰之气。有《石林词》,存词百余首,今人蒋哲伦有笺注本。

# 八声甘州

#### 寿阳楼八公山作

故都迷岸草,望长淮、依然绕孤城。想乌衣年少,芝兰秀发,戈戟云横。坐看骄兵南渡,沸浪骇奔鲸。转眄东流水,一顾功成。 千载八公山下,尚断崖草木,遥拥峥嵘。漫云涛吞吐,无处问豪英。信劳生、空成今古,笑我来、何事怆遗情。东山老,可堪岁晚,独听桓筝。

[寿阳]:今安徽寿县。八公山在县城北,淝水流经其下。为东晋淝水之战战场。

[桓筝]:谢安晚年为晋孝武帝疏远。一次陪帝饮酒,桓伊弹筝吟唱曹植《怨歌行》: "为君既不易,为臣良独难。忠信事不易,乃有见疑患。"帝甚有愧色。

# 万俟咏

万俟咏,生卒年不详。字雅言。元祐间以诗赋擅名,尝游上庠,不 第。遂放意歌酒,肆力词章,自称大梁词隐。徽宗政和间,任大晟府制撰 官。南渡后,曾自荐乞官,为高宗鄙弃。词集《大声集》五卷,当时颇负盛 名,被称为词之圣者。惜今不传,惟辑得二十七首。

### 长相思

雨

一声声。一更更。窗外芭蕉窗里灯。此时无限情。 梦难成。恨难平。不道愁人不喜听。空阶滴到明。

## 木兰花慢

恨莺花渐老,但芳草、绿汀洲。纵岫壁千寻,榆钱万叠,难买春留。梅花向来始别,又匆匆、结子满枝头。门外垂杨岸侧,画桥谁系兰舟。 悠悠。岁月如流。叹水覆、杳难收。凭画阑,往往抬头举眼,都是春愁。东风晚来更恶,怕飞红、拍絮入书楼。双燕归来问我,怎生不上帘钩。

# 朱敦儒

朱敦儒(1081-1159),字希真,号岩壑,又称伊水老人、洛川先生。河南(今河南洛阳)人。早岁隐居,以志行高洁为朝野所称,徽宗宣和间曾官于京师,旋即辞归。钦宗靖康初,召授学官,辞不就。南渡初,流寓两广,屡辞荐,后经友人劝说,应诏出仕。高宗绍兴三年(1133),特补迪功郎。五年,赐进士出身,守秘书省正字。六年,兼权兵部郎中,通判临安府。八年,为枢密行府谘议参军。十四年,提点两浙东路刑狱,十六年罢,十九年致仕。二十五年,秦桧用敦儒之子为删定官,强之复出,敦儒惧祸不敢辞,起除鸿胪少卿。桧死,依旧致仕。《宋史》卷四四五有传。词集《樵歌》三卷今存,有词两百余首。

### 鹧鸪天

#### 西都作

我是清都山水郎。天教分付与疏狂。曾批给雨支风券,累上留云借月章。 诗万首,酒千觞。几曾着眼看侯王。玉楼金阙慵归去,且插梅花醉洛阳。

### 朝中措

先生筇杖是生涯。挑月更担花。把住都无憎爱,放行总是烟霞。 飘然携去,旗亭问酒,萧寺寻茶。恰似黄鹂无定,不知飞到谁家。

### 西江月

世事短如春梦,人情薄似秋云。不须计较苦劳心。万事原来有命。 幸遇 三杯酒好,况逢一朵花新。片时欢笑且相亲。明日阴晴未定。

### 西江月

日日深杯酒满,朝朝小圃花开。自歌自舞自开怀。且喜无拘无碍。 青史 几番春梦,黄泉多少奇才。不须计较与安排。领取而今现在。

# 相见欢

金陵城上西楼。倚清秋。万里夕阳垂地大江流。 中原乱。簪缨散。几时收。试倩悲风吹泪过扬州。

# 赵佶

赵佶(1082—1135),即宋徽宗,神宗第十一子,在位二十五年。靖康二年(1127)与其子钦宗赵桓同为金人所俘,囚禁五国城(今黑龙江依兰)至死。工书画。《全宋词》录其词十二首。

#### 燕山亭

#### 北行见杏花

裁翦冰绡,轻叠数重,淡着燕脂匀注。新样靓妆,艳溢香融,羞杀蕊珠宫女。易得凋零,更多少、无情风雨。愁苦。问院落凄凉,几番春暮。 凭寄离恨重重。这双燕,何曾会人言语。天遥地远,万水千山,知他故宫何处。怎不思量,除梦里、有时曾去。无据。和梦也、新来不做。

[蕊珠]:道家所云之天上宫阙。周邦彦《汴都赋》: "蕊珠广寒,黄帝之宫,荣光休气,膧朧往来。"

# 李清照

李清照(1084—1155?),号易安居士,济南章丘人。父李格非,为元枯后四学士之一。徽宗建中靖国元年(1101)嫁吏部侍郎赵挺之子太学生赵明诚。崇宁元年(1102),蔡京、赵挺之拜左右相,重开党禁,立元祐党籍碑,李格非在党籍中,清照以诗上挺之救父,未果。大观元年(1107),赵挺之卒,为蔡京所陷,追夺所赠官。清照遂与赵明诚屏居青州乡里十三年。宣和三年(1121),蔡京致仕,明诚起知莱州(今山东掖县),后移守知建康府,三年,因中暑卒。时金兵渡江南下,清照避兵入浙,历台州、嵊州、黄岩,从高宗御舟海道至温州,复至越州、衢州。绍兴二年(1132),兵兵战,遂赴杭州。经此乱离,所携金石图书,亡散尽。四年,避地金华,收居陈氏第。晚年往来金华、临安间,曾短暂改嫁张汝舟,因张汝舟欲谋,及居陈氏第。晚年往来金华、临安间,曾超暂改嫁张汝舟,因张汝舟欲谋,人居陈氏第。晚年往来金华、临安间,周晋浅近,思致清新,人称"易安太"。南渡后词风凄楚沉郁,多寓故国黍离之悲。著述散佚,后人辑有《漱玉词》、存词四十余首、有今人王仲闻校注本、徐培均笺注本。

## 南歌子

天上星河转,人间帘幕垂。凉生枕簟泪痕滋。起解罗衣聊问夜何其。 翠 贴莲蓬小,金销藕叶稀。旧时天气旧时衣。只有情怀不似旧家时。

## 如梦令

昨夜雨疏风骤。浓睡不消残酒。试问卷帘人,却道海棠依旧。知否。知否。 应是绿肥红瘦。

## 如梦令

常记溪亭日暮。沉醉不知归路。兴尽晚回舟,误入藕花深处。争渡。争渡。 惊起一滩鸥鹭。

## 渔家傲

天接云涛连晓雾。星河欲转千帆舞。仿佛梦魂归帝所。闻天语。殷勤问我归何处。 我报路长嗟日暮。学诗漫有惊人句。九万里风鹏正举。风休住。 蓬舟吹取三山去。

[三山]:即蓬莱、方丈、瀛洲、传说中海上仙人所居。

### 凤凰台上忆吹箫

香冷金猊,被翻红浪,起来慵自梳头。任宝奁尘满,日上帘钩。生怕离怀别苦,多少事,欲说还休。新来瘦,非干病酒,不是悲秋。 休休。这回去也,千万遍阳关,也则难留。念武陵人远,烟锁秦楼。惟有楼前流水,应念我、终日凝眸。凝眸处,从今又添,一段新愁。

## 一剪梅

红藕香残玉簟秋。轻解罗裳,独上兰舟。云中谁寄锦书来,雁字回时,月满 西楼。 花自飘零水自流。一种相思,两处闲愁。此情无计可消除,才下 眉头,却上心头。

## 醉花阴

薄雾浓云愁永昼。瑞脑销金兽。佳节又重阳,玉枕纱厨,半夜凉初透。 东篱把酒黄昏后。有暗香盈袖。莫道不销魂,帘卷西风,人比黄花瘦。

### 永遇乐

落日熔金,暮云合璧,人在何处。染柳烟浓,吹梅笛怨,春意知几许。元宵佳节,融和天气,次第岂无风雨。来相召、香车宝马,谢他酒朋诗侣。 中州盛日,闺门多暇,记得偏重三五。铺翠冠儿,捻金雪柳,簇带争济楚。如今憔悴,风鬟霜鬓,怕见夜间出去。不如向帘儿底下,听人笑语。

### 声声慢

寻寻觅觅,冷冷清清,凄凄惨惨戚戚。乍暖还寒时候,最难将息。三杯两盏淡酒,怎敌他、晚来风急。雁过也,正伤心,却是旧时相识。 满地黄花堆积。憔悴损,如今有谁堪摘。守着窗儿,独自怎生得黑。梧桐更兼细雨,到黄昏、点点滴滴。这次第,怎一个愁字了得。

# 吕本中

吕本中(1084-1145),初名大中,字居仁,开封人。高祖吕夷简、曾祖吕公著、祖吕希哲皆为一时重臣。少从杨时、游酢学,以恩荫入仕,徽宗宣政年间官济阴主簿。宣和六年(1124),除枢密院编修。高宗绍兴六年(1136),赐进士出身,擢起居舍人兼权中书舍人。八年,真除中书舍人,兼侍讲,兼权直学士院。同年,因忤秦桧,遭御史劾罢,退居上饶。卒谥文清,因其先世为东莱人,如世称东莱先生。《宋史》卷三七六有传。吕本中以诗闻名,曾绘制《江西诗社宗派图》。词集今佚,惟存词二十七首。

# 采桑子

恨君不似江楼月,南北东西。南北东西。只有相随无别离。 恨君却似江楼月,暂满还亏。暂满还亏。待得团团是几时。

# 南歌子

驿路侵斜月,溪桥度晓霜。短篱残菊一枝黄。正是乱山深处过重阳。 旅 枕元无梦,寒更每自长。只言江左好风光。不道中原归思转凄凉。

# 陈与义

陈与义(1090-1138),字去非,号简斋,其先眉州青城人,曾祖希亮迁洛,遂为洛阳人。徽宗政和三年(1113),上舍甲科,授文林郎充开德府教授,累迁太常博士。高宗绍兴元年(1131),召为兵部员外郎。二年,迁中书舍人。四年,出知湖州,复擢翰林学士、知制诰。七年,拜参知政事。明年冬,以疾辞。《宋史》卷四四五有传。与义以诗名世,有《简斋集》三十卷传世。词集《无住词》亦存,仅二十余首,今人白敦仁合诗词于一编,为之校笺。

### 临江仙

夜登小阁忆洛中旧游

忆昔午桥桥上饮,坐中多是豪英。长沟流月去无声。杏花疏影里,吹笛到天明。 二十余年如一梦,此身虽在堪惊。闲登小阁看新晴。古今多少事, 渔唱起三更。

# 张元幹

张元幹(1091-1161),字仲宗,号真隐山人、芦川居士,永福(今福建永泰)人。早岁随父宦游,尝从徐俯学诗。徽宗政和间以上舍释褐。宣和七年(1125)为陈留县丞。钦宗靖康元年(1126)应东京留守兼亲征行营使李纲辟,旋与纲同日遭贬。金兵陷汴,避难吴越间。高宗建炎中起为将作监,抚谕使,随高宗避兵明州,因事得罪,绍兴元年(1131)以右朝奉郎致仕。十二年,胡铨上书乞斩秦桧,贬新州编管,张元幹在福州作《贺新郎》词壮其行。二十一年,坐作词事追赴临安大理寺,削籍除名。张元幹词风豪壮,其子靖裒刻为《芦川居士词》二卷传世。又有《芦川归来集》十五卷、附录一卷、已残。清四库馆臣据《永乐大典》增辑为《芦川归来集》十卷。

贺新郎

送胡邦衡待制赴新州

梦绕神州路。怅秋风、连营画角,故宫离黍。底事昆仑倾砥柱,九地黄流乱注。聚万落、千村狐兔。天意从来高难问,况人情老易悲难诉。更南浦,送君去。 凉生岸柳催残暑。耿斜河,疏星残月,断云微度。万里江山知何处。回首对床夜语。雁不到,书成谁与。目尽青天怀今古,肯儿曹恩怨相尔汝。举大白,听《金缕》。

[底事]:何事,为何。

[狐兔]: 喻指奸臣小人。

#### 瑞鹧鸪

彭德器出示胡邦衡新句次韵

白衣苍狗变浮云。千古功名一聚尘。好是悲歌将进酒,不妨同赋惜余春。 风光全似中原日,臭味要须我辈人。雨后飞花知底数,醉来赢取自由身。

[惜余春]:李白曾有《惜余春赋》。

# 近温

岳飞(1103 — 1142),字鹏举,相州汤阴(今属河南)人。南宋抗金名将。出身贫寒,二十岁应募为"敢战士"。建炎中,为东京留守宗泽部下统制。建炎四年(1130),率军拦截金兵,收复建康,迁通泰镇抚使兼知泰州。绍兴四年(1134),授清远军节度使,湖北路、荆、襄、潭州节度使。七年,拜太尉,湖北、京西路宣抚使。九年,进开府仪同三司。高宗手书"精忠岳飞"四字,制旗赐之。十年,授少保,河南北诸路招讨使,挥师北伐,连克蔡州、郑州、洛阳,于郾城大败金将兀术。时秦桧力主和议,金人亦以杀飞为条件,遂命岳飞班师。十一年,诸将兵权被收,岳飞被授枢密副使,寻罢。旋遭谋反罪名下狱,是年除夕夜死于大理寺狱。孝宗受禅,复官。淳熙五年(1179),追谥武穆。宁宗朝追封鄂王。《宋史》卷三六五有传。遗著后人辑为《岳武穆集》。词存三首,虽皆存疑,然彪炳千秋,激励万代。

#### 小重山

昨夜寒蛩不住鸣。惊回千里梦,已三更。起来独自绕阶行。人悄悄,帘外月 胧明。 白首为功名。旧山松竹老,阻归程。欲将心事付瑶琴。知音少, 弦断有谁听。

### 满江红

怒发冲冠,凭栏处、潇潇雨歇。抬望眼、仰天长啸,壮怀激烈。三十功名尘与土,八千里路云和月。莫等闲、白了少年头,空悲切。 靖康耻,犹未雪。臣子恨,何时灭。驾长车踏破、贺兰山缺。壮志饥餐胡虏肉,笑谈渴饮匈奴血。待从头、收拾旧山河,朝天阙。

### 满江红

#### 登黄鹤楼有感

遥望中原,荒烟外、许多城郭。想当年,花遮柳护,凤楼龙阁。万岁山前珠翠绕,蓬壶殿里笙歌作。到而今、铁骑满郊畿,风尘恶。 兵安在,膏锋锷。民安在,填沟壑。叹江山如故,千村寥落。何日请缨提锐旅,一鞭直渡清河洛。却归来、再续汉阳游,骑黄鹤。

[万岁山]:即艮岳。徽宗征江南花石纲,叠太湖石于开封大内之北。

# 陆游

陆游(1125-1209),字务观,越州山阴(今浙江绍兴)人。年十二能诗文,以荫补登仕郎。高宗绍兴二十三年(1153)两浙转运司锁厅试第一,以秦桧孙埙居其次,抑置为末。明年礼部试,主司复置前列,为桧黜落。桧死,绍兴二十八年始为福州宁德主簿。三十年,召除敕令所删定官。三十一年,迁大理寺司直兼宗正簿。孝宗即位,迁枢密院编修官兼编类圣政所检讨官,赐进士出身。因论龙大渊、曾觌招权植党,出通判建康府,乾道元年(1165),改通判隆兴府,以交结台谏,鼓唱是非,力说张浚用兵论罢。六年,起通判夔州。八年,应王炎辟,为四川宣抚使干办公事。其后曾摄通判蜀州,知嘉州、荣州。淳熙二年(1175),范成大帅蜀,为成都路安抚司参

议官。三年,被劾摄知嘉州时燕饮颓放,罢职奉祠,因自号放翁。五年,提举福建路常平茶盐。六年,改提举江南西路。以奏发粟赈济灾民,被劾奉祠。十三年,起知严州。十五年,召除军器少监。光宗即位,迁礼部郎中兼实录院检讨官,未几,复被劾免。宁宗嘉泰二年(1202),诏同修国史,实录院同修撰,兼秘书监。三年,致仕。开禧三年(1207),进爵渭南县伯。陆游毕生主张抗金,著作繁富,有《渭南文集》五十卷,《剑南诗稿》八十五卷等。《宋史》卷三九五有传。陆游词见于《渭南文集》,共两卷一百四十余首。有今人夏承焘、吴熊和编年校注本。

### 南乡子

归梦寄吴樯。水驿江程去路长。想见芳洲初系缆,斜阳。烟树参差认武昌。 愁鬓点新霜。曾是朝衣染御香。重到故乡交旧少,凄凉。却恐他乡胜故乡。

### 钗头凤

红酥手。黄滕酒。满城春色宫墙柳。东风恶。欢情薄。一怀愁绪,几年离索。错错错。 春如旧。人空瘦。泪痕红浥鲛绡透。桃花落。闲池阁。山盟虽在,锦书难托。莫莫莫。

#### 【附录】

陈鹄《耆旧续闻》卷十:"余弱冠客会稽,游许氏园,见壁间有陆放翁所题词……笔势飘逸,书于沈氏园,辛未三月题。放翁先室内琴瑟甚和,然不当母夫人意,因出之。夫妇之情,实不忍离。后适南班士名某,家有园馆之胜。务观一日至园中,去妇闻之,遣遗黄封酒、果馔,通殷勤。公感其情,为赋此词。其妇见而和之,有'世情薄,人情恶'之句,惜不得其全阕。未几,怏怏而卒。闻者为之怆然。此园后更许氏,淳熙间,其壁犹存,好事者以竹木来护之。今不复有矣。"

唐婉《钗头凤》:"世情薄。人情恶。雨送黄昏花易落。晓风干。泪痕残。欲笺心事,独语倚阑。难难难。 人成各。,今非昨。病魂常似秋千索。角声寒。夜阑珊。怕人寻问,咽泪妆欢。瞒瞒瞒。"

#### 卜算子

#### 咏梅

驿外断桥边,寂寞开无主。已是黄昏独自愁,更着风和雨。 无意苦争春,一任群芳妒。零落成泥碾作尘,只有香如故。

### 诉衷情

当年万里觅封侯。匹马戍梁州。关河梦断何处, 尘暗旧貂裘。 胡未灭, 鬓先秋。泪空流。此生谁料, 心在天山, 身老沧洲。

「天山]: 祁连山。

[沧洲]: 隐者所居之地。

## 范成大

范成大(1126-1193),字至能,号石湖居士,吴郡(今江苏苏州)人。高宗绍兴二十四年(1154)进士,除徽州司户参军。三十二年,入监太平惠民和剂局。孝宗隆兴元年(1163),为编类高宗圣政所兼勅令所检讨官。乾道元年(1165),累迁著作佐郎。二年,除吏部员外郎,为言者论罢。三年,起知处州。五年,除礼部员外郎兼崇政殿说书,兼国史院编修官。六年,以起居郎假资政殿大学士使金。使归,迁中书舍人,同修国史及实录院同修撰。七年,知静江府兼广西经略安抚使。淳熙二年(1175),除四川安抚制置使。四年召对,权礼部尚书。五年,拜参知政事,寻罢。七年,知明州兼沿海制置使。八年,知建康府。十年,以疾奉祠。十五年,起知福州,未赴。光宗绍熙三年(1192)加资政殿大学士。《宋史》卷三八六有传。有《石湖大全集》一百三十六卷,已佚。今传《石湖居士诗集》三十四卷,及《吴郡志》《揽辔录》《骖鸾录》《桂海虞衡志》《吴船录》等。词存一百余首,汇为《石湖词》。

### 南柯子

怅望梅花驿,凝情杜若洲。香云低处有高楼。可惜高楼不近木兰舟。 缄 素双鱼远,题红片叶秋。欲凭江水寄离愁。江已东流那肯更西流。

### 水调歌头

#### 九日燕山作

万里汉家使,双节照清秋。旧京行遍,中夜呼禹济黄流。寥落桑榆西北,无限太行紫翠,相伴过芦沟。岁晚客多病,风露冷貂裘。 对重九,须烂醉,莫牢愁。黄花为我,一笑不管鬓霜羞。袖里天书咫尺,眼底关河百二,歌罢此生浮。惟有平安信,随雁到南州。

### 朝中措

身闲身健是生涯。何况好年华。看了十分秋月,重阳更插黄花。 消磨景物,瓦盆社酿,石鼎山茶。饱吃红莲香饭,侬家便是仙家。

[红莲香饭]: 苏州盛产红莲稻, 故此即云当地稻米所煮之饭。

[侬家]: 犹言我家。

## 张孝祥

张孝祥(1132-1170),字安国,号于湖居士,历阳乌江(今安徽和县东北)人。高宗绍兴二十四年(1154)进士第一。方第,即上疏言岳飞冤狱,忤秦桧,授签书镇东军节度判官。桧死,召为秘书省正字,累迁起居舍人、权中书舍人,为御史中丞汪彻劾罢。寻起知抚州。孝宗即位,知平江府。召为中书舍人,迁直学士院兼都督府参赞军事。领建康留守。力赞张浚主战,为宰相汤思退所忌,以张浚党落职。思退罢,起知静江府兼广南路经略安抚使,复以言者罢。俄起知潭州,权荆湖南路提点刑狱,迁知荆南、荆湖北路安抚使。乾道五年(1169),因疾力请归养侍亲,以显谟阁直学士致仕。《宋史》卷三八九有传。有《于湖集》四十卷。词见《于湖居士乐府》,共二百二十余首,有今人宛敏灏笺校本。

## 六州歌头

 剑,空埃蠹,竟何成。时易失,心徒壮,岁将零。渺神京。干羽方怀远,静 烽燧,且休兵。冠盖使,纷驰骛,若为情。闻道中原遗老,常南望翠葆霓 旌。使行人到此,忠愤气填膺,有泪如倾。

[洙泗]:山东曲阜二水名,因孔子曾讲学于此,故后世代称孔子与儒家。此处即借指山东。

[毡乡]:因金人多住毡帐之中,故以毡乡代指金地。

[区脱]: 匈奴语, 指边境屯戍之处。

[名王]: 代指金将。

[骑火]:举着火把的骑兵队伍。

[怀远]:以文德怀柔远人。

[若为情]: 犹言何以为情, 即情何以堪之意。

[翠葆霓旌]:皇帝仪仗。

#### 【附录】

《朝野遗记》:"安国在建康留守席上赋此,歌阕,魏公为罢席而入。""

## 念奴娇

#### 过洞庭

洞庭青草,近中秋、更无一点风色。玉界琼田三万顷,着我扁舟一叶。素月分辉,明河共影,表里俱澄澈。悠然心会,妙处难与君说。 应念岭海经年,孤光自照,肝肺皆冰雪。短发萧骚襟袖冷,稳泛沧浪空阔。尽吸西江,细斟北斗,万象为宾客。扣舷独啸,不知今夕何夕。

# 辛弃疾

辛弃疾(1140-1207),字坦夫,改字幼安,号稼轩,齐州历城(今山东济南)人。出生于金兵占领区,青年时即率众抗金。高宗绍兴三十一年(1161),投忠义军耿京部,为掌书记。三十二年奉表归宋,高宗劳师建康,授耿京天平军节度掌书记,命弃疾以节度使印告召京。时京部将张安国杀京降金,弃疾还海州,约忠义军人径趋金营,缚张安国以归,改差签判江阴军。孝宗乾道四年(1168),通判建康府。历知滁州,提点江西刑狱,京西转运判官,知江陵府兼湖北安抚,知隆兴府兼江西安抚,知潭州兼湖南安

抚。后于再知隆兴府任上因擅拨粮舟救荒,为言者论罢。光宗绍熙二年 (1191),起提点福建刑狱,迁知福州兼福建安抚,未几又为言者论罢。宁宗嘉泰三年(1203),起知绍兴府兼浙东安抚。四年迁知镇江府,旋坐谬举落职。开禧三年(1207),召赴行在奏事,未受命卒。《宋史》卷四○一有传。辛弃疾以词著称,词作题材丰富,笔调雄健,与苏轼并称苏辛,诗集《稼轩集》已佚,《稼轩词》四卷与《稼轩长短句》十二卷今传。有今人邓广铭编年笺注本,吴企明校笺本。

### 摸鱼儿

淳熙己亥,自湖北漕移湖南,同官王正之置酒小山亭,为赋。 更能消几番风雨,匆匆春又归去。惜春长怕花开早,何况落红无数。春且 住。见说道、天涯芳草无归路。怨春不语。算只有殷勤,画檐蛛网,尽日惹 飞絮。 长门事,准拟佳期又误。蛾眉曾有人妒。千金纵买相如赋。脉脉 此情谁诉。君莫舞。君不见、玉环飞燕皆尘土。闲愁最苦。休去倚危栏,斜 阳正在,烟柳断肠处。

[长门事]:汉武帝陈皇后名阿娇,因嫉妒卫子夫而被废,幽居于长门宫中。

[相如赋]:相传陈阿娇幽居长门宫时,曾以黄金百斤请司马相如作赋,以道其哀怨。司马相如遂作《长门赋》,武帝读后,颇为感慨,阿娇遂复宠。

## 水龙吟

#### 登建康赏心亭

楚天千里清秋,水随天去秋无际。遥岑远目,献愁供恨,玉簪螺髻。落日楼头,断鸿声里,江南游子。把吴钩看了,阑干拍遍,无人会,登临意。 休说鲈鱼堪脍,尽西风,季鹰归未。求田问舍,怕应羞见,刘郎才气。可惜流年,忧愁风雨,树犹如此。倩何人唤取,红巾翠袖,揾英雄泪。

[求田]三句:《三国志·陈登传》:"许汜与刘备并在荆州牧刘表坐,表与备共论天下人,汜曰:'陈元龙湖海之士,豪气不除。'备谓表曰:'许君论是非?'表曰:'欲言非,此君为善士,不宜虚言;欲言是,元龙名重天下。'备问汜:'君言豪,宁有事邪?'汜曰:'昔遭乱过下邳,见元龙。元龙无客主之意,久不相与语,自上大床卧,使客卧下床。'备曰:'君有国士之名,今天下大乱,帝主失所,望君忧国忘家,有救世之意,而君求田问舍,言无

可采,是元龙所讳也,何缘当与君语?如小人,欲卧百尺楼上,卧君于地,何但上下床之间邪?""

[树犹如此]:《世说新语·言语》:"桓公北征经金城,见前为琅邪时种柳,皆已十围,慨然曰:'木犹如此,人何以堪!'攀枝执条, 泫然流泪。"

### 鹧鸪天

#### 送人

唱彻阳关泪未干。功名馀事且加餐。浮天水送无穷碧,带雨云埋一半山。 今古恨,几千般。只应离合是悲欢。江头未是风波恶,别有人间行路难。

## 菩萨蛮

#### 书江西造口壁

郁孤台下清江水。中间多少行人泪。西北望长安。可怜无数山。 青山遮 不住。毕竟东流去。江晚正愁余。山深闻鹧鸪。

[造口]:今江西万安县西南六十里,皂口溪于此流入赣江。

[郁孤台]:在今江西赣县西南。

#### 【附录】

罗大经《鹤林玉露》卷四:"南渡之初,金人追隆祐太后御舟至造口,不及而还。幼安自此起兴,'闻鹧鸪'之句,谓恢复之事行不得也。"

# 青玉案

#### 元夕

东风夜放花千树。更吹落、星如雨。宝马雕车香满路。凤箫声动,玉壶光转,一夜鱼龙舞。 蛾儿雪柳黄金缕。笑语盈盈暗香去。众里寻他千百度。蓦然回首,那人却在,灯火阑珊处。

[花千树][星如雨]:皆喻指元夕花灯。吴自牧《梦梁录》卷一"元宵":"诸营班院于法不得与夜游,各以竹竿出灯球于半空,远睹若飞星。"

[蛾儿]句:宋俗,元宵妇女头饰有金纸、彩纸剪成的玉梅、雪柳、闹蛾儿等。此处代指元夕赏灯的女子。

[阑珊]: 黯淡、稀疏貌。

## 祝英台近

#### 晚春

宝钗分,桃叶渡。烟柳暗南浦。怕上层楼,十日九风雨。断肠片片飞红,都无人管,更谁劝、啼莺声住。 鬓边觑。试把花卜归期,才簪又重数。罗帐灯昏,哽咽梦中语。是他春带愁来,春归何处。却不解、带将愁去。

[桃叶渡]: 古渡名,在今江苏南京秦淮河畔。东晋王献之曾于此处送别爱妾桃叶,有《桃叶歌》云:"桃叶复桃叶,渡江不用楫。" [花卜]:通过数花瓣数目的方式进行占卜。

#### 清平乐

茅檐低小。溪上青青草。醉里吴音相媚好。白发谁家翁媪。 大儿锄豆溪东。中儿正织鸡笼。最喜小儿无赖,溪头卧剥莲蓬。

#### 清平乐

#### 独宿博山王氏庵

绕床饥鼠。蝙蝠翻灯舞。屋上松风吹急雨。破纸窗间自语。 平生塞北江南。归来华发苍颜。布被秋宵梦觉,眼前万里江山。

#### 西江月

#### 夜行黄沙道中

明月别枝惊鹊,清风半夜鸣蝉。稻花香里说丰年。听取蛙声一片。 七八个星天外,两三点雨山前。旧时茅店社林边,路转溪桥忽见。

#### 贺新郎

别茂嘉十二弟。鹈鴂、杜鹃实两种, 见离骚补注

绿树听鹈鴂,更那堪、鹧鸪声住,杜鹃声切。啼到春归无寻处,苦恨芳菲都歇。算未抵、人间离别。马上琵琶关塞黑。更长门翠辇辞金阙。看燕燕,送归妾。 将军百战身名裂。向河梁、回头万里,故人长绝。易水萧萧西风冷,满座衣冠似雪。正壮士、悲歌未彻。啼鸟还知如许恨,料不啼清泪长啼血。谁共我,醉明月。

- [马上琵琶]:用昭君出塞典故。西晋石崇《王明君辞》中猜测王昭君出塞时当与乌孙公主出嫁类似,于马上弹琵琶诉说怨恨。后世遂将琵琶与王昭君相系联。
- [燕燕]:《诗经·邶风·燕燕》:"燕燕于飞,差池其羽。"盖以燕子起兴,诉说离别之恨。传统《诗经》学者多认为此诗为卫桓公养母庄姜夫人所作。时卫桓公新逝,其妇无子,故须遣返母国,庄姜夫人于临行时赋此诗以送之。
- [将军]三句:指西汉李陵投降匈奴后,先前作为汉将的功业声名均告破灭。李陵与苏武有旧,苏武被拘匈奴十九年后终获放还,李陵于河梁之上送其归汉。
- [易水]三句:荆轲刺秦王,燕太子丹送之易水之上,太子及宾客皆服白衣冠。荆轲于送别之际自歌云:"风萧萧兮易水寒,壮士一去兮不复还。"

[还知]:如果知道。

## 粉蝶儿

#### 和晋臣赋落花

昨日春如十三女儿学绣。一枝枝不教花瘦。甚无情,便下得雨僝风僽。向园林、铺作地衣红绉。 而今春似轻薄荡子难久。记前时、送春归后。把春波,都酿作,一江春酎。约清愁、杨柳岸边相候。

### 破阵子

#### 为陈同甫赋壮词以寄之

醉里挑灯看剑,梦回吹角连营。八百里分麾下炙,五十弦翻塞外声。沙场秋点兵。 马作的卢飞快,弓如霹雳弦惊。了却君王天下事,赢得生前身后名。可怜白发生。

### 鹧鸪天

有客慨然谈功名,因追念少年时事,戏作。

壮岁旌旗拥万夫。锦襜突骑渡江初。燕兵夜娖银胡騄,汉箭朝飞金仆姑。 追往事,叹今吾。春风不染白髭须。却将万字平戎策,换得东家种树书。

「锦襜】: 战袍。

[娖银胡鞣]:娖、整理。胡鞣:箭袋。

[金仆姑]:箭名。

[平戎策]:辛弃疾有《美芹十论》《九议》等阐述抗金策略的奏疏,于 南渡之初分别进呈孝宗。

### 永遇乐

#### 京口北固亭怀古

千古江山,英雄无觅,孙仲谋处。舞榭歌台,风流总被,雨打风吹去。斜阳草树,寻常巷陌,人道寄奴曾住。想当年,金戈铁马,气吞万里如虎。 元嘉草草,封狼居胥,赢得仓皇北顾。四十三年,望中犹记,烽火扬州路。可堪回首,佛狸祠下,一片神鸦社鼓。凭谁问,廉颇老矣,尚能饭否。

- [京口]:今江苏镇江,东北有北固山,山上有亭楼,俱以北固为名。
- [寄奴]:南朝宋武帝刘裕小名。本在京口街头流浪,因参加于京口组建的北府兵而发迹。
- [想当年]三句:东晋末刘裕两次率军北伐,灭南燕、后秦,收复洛阳、长安等地。
- [元嘉]三句:刘裕子宋文帝刘义隆,好大喜功,元嘉二十七年(450)草率北伐,惨败而归。
- [佛狸祠]:北魏太武帝拓跋焘小字佛狸,败刘宋大将王玄谟,追至长江 北岸瓜步山建行宫,后为佛狸祠,代代祭祀不绝。
- [凭谁问]二句:赵国为秦国所困,赵王欲复用廉颇,遣使者探视廉颇是否可用,廉颇之仇郭开多与使者金,令毁之。赵使者既见廉颇。廉颇为之一饭斗米,肉十斤,被甲上马,以示尚可用。赵使还报王曰:廉将军虽老,尚善饭。然与臣坐,顷之三遗矢矣。赵王以为老、遂不召。

# 陈亮

陈亮(1143-1194),字同甫,号龙川,婺州永康(今浙江金华)人。 早年尝考古人用兵成败之迹,著《酌古论》。孝宗乾道中婺州以解头为荐, 补太学博士弟子员,因上《中兴五论》,奏入不报。淳熙五年(1178),更 名为同。六次诣阙上书,极论时事,为大臣所沮,不果。光宗绍熙四年 (1193)进士第一,授签书建康府判官,未至官,逾年卒。端平初,谥文 毅。《宋史》卷四三六有传。有《龙川集》,今传本已非完帙。词存三十余 首,有今人夏承焘校订笺注本。

### 水调歌头

#### 送章德茂大卿使虏

[北群空]:韩愈《送温处士赴河阳军序》:"伯乐一过冀北之野而马群遂空。"此处以没有良马喻指南宋没有良才。

[藁街]:西汉长安街名,为少数民族聚居之地。汉将陈汤曾斩匈奴郅支单于,悬其首于藁街,以示万里,明犯强汉者,虽远必诛。

# 刘过

刘过(1154-1206),字改之,号龙洲道人,吉州太和(今江西泰和)人。多次应举不第,终生未仕。曾上书朝廷提出恢复中原方略,未被采纳。后漂泊江淮间,与主张抗战的诗人陆游、陈亮、辛弃疾等多有唱和。晚年定居昆山。有《龙洲道人集》十五卷。词存七十余首。

# 糖多令

安远楼小集, 侑觞歌板之姬黄其姓者, 乞词于龙洲道人。为赋此《糖 多令》。同柳阜之、刘去非、石民瞻、周嘉仲、陈孟参、孟容, 时八月五日 也。

芦叶满汀洲。寒沙带浅流。二十年、重过南楼。柳下系舟犹未稳,能几日、 又中秋。 黄鹤断矶头。故人今在不。旧江山、浑是新愁。欲买桂花同载酒。终不是,少年游。

# 姜夔

姜夔(1155?-1209?),字尧章,号白石道人,饶州鄱阳(今属江西)人。 父噩知汉阳县,卒于官,姊嫁汉川县山阳村。夔早年往来沔、鄂几二十年。 诗人萧德藻爱其才,妻以兄子,携居吴兴,后迁居杭州。他生当宋金对峙, 终生未仕,以清雅多才享誉士林,为名公巨儒所赏识,自叙"稼轩辛公,深 服其长短句"。词以空灵含蓄著称。有《白石道人歌曲》,存词八十余首, 有今人夏承焘编年笺校本.陈书良笺注本。

### 点绛唇

#### 丁未冬过吴松作

燕雁无心,太湖西畔随云去。数峰清苦,商略黄昏雨。 第四桥边,拟共 天随住。今何许。凭栏怀古。残柳参差舞。

[吴松]:即吴淞江,俗称苏州河。源出太湖,经吴江、苏州、上海,合黄浦江入海。

[第四桥]: 苏州甘泉桥, 泉品第四, 故名。

[天随]:晚唐陆龟蒙号天随子,居松江甫里,泛太湖。

#### 踏莎行

自沔东来, 丁未元日, 至金陵, 江上感梦而作。

燕燕轻盈, 莺莺娇软。分明又向华胥见。夜长争得薄情知, 春初早被相思染。 别后书辞,别时针线。离魂暗逐郎行远。淮南皓月冷千山,冥冥归去无人管。

#### 扬州慢

淳熙丙申至日,予过维扬。夜雪初霁,荞麦弥望。入其城,则四顾萧条,寒水自碧,暮色渐起,成角悲吟。予怀怆然,感慨今昔,因自度此曲。 千岩老人以为有《黍离》之悲也。

淮左名都,竹西佳处,解鞍少驻初程。过春风十里,尽荠麦青青。自胡马窥江去后,废池乔木,犹厌言兵。渐黄昏,清角吹寒,都在空城。 杜郎俊赏,算而今、重到须惊。纵豆蔻词工,青楼梦好,难赋深情。二十四桥仍在,波心荡,冷月无声。念桥边红药,年年知为谁生。

### 暗香

辛亥之冬,予载雪诣石湖。止既月,授简索句,且征新声。作此两曲,石湖把玩不已,使工妓隶习之,音节谐婉,乃名之曰《暗香》《疏影》。旧时月色,算几番照我,梅边吹笛。唤起玉人,不管清寒与攀摘。何逊而今渐老,都忘却、春风词笔。但怪得、竹外疏花,香冷入瑶席。 江国,正寂寂。叹寄与路遥,夜雪初积。翠尊易泣,红萼无言耿相忆。长记曾携手处,千树压西湖寒碧。又片片吹尽也,几时见得。

### 疏影

## 淡黄柳

客居合肥南城赤阑桥之西, 巷陌凄凉, 与江左异。惟柳色夹道, 依依可怜。因度此阕, 以纾客怀。

空城晓角,吹入垂杨陌。马上单衣寒恻恻。看尽鹅黄嫩绿,都是江南旧相识。 正岑寂。明朝又寒食。强携酒,小桥宅。怕梨花落尽成秋色。燕燕飞来,问春何在,唯有池塘自碧。

## 鹧鸪天

#### 正月十一日观灯

巷陌风光纵赏时。笼纱未出马先嘶。白头居士无呵殿,只有乘肩小女随。 花满市,月侵衣。少年情事老来悲。沙河塘上春寒浅,看了游人缓缓归。

[呵殿]: 古时官员出行, 仪卫前呵后殿, 以令行人让道。故以"呵殿"代指仪仗。

# 史达祖

史达祖(1163?-1220?),字邦卿,号梅溪,汴(令河南开封)人。屡试不第,屈身幕僚。嘉泰年间入中书省,为韩侂胄堂吏,力主开禧北伐。后北伐失败,韩侂胄被杀,史达祖获罪流放。其词长于咏物,尽态极妍,亦多抒发家国身世感慨。有《梅溪词》,存词一百一十余首。

### 双双燕

#### 咏燕

过春社了,度帘幕中间,去年尘冷。差池欲住,试入旧巢相并。还相雕梁藻井,又软语、商量不定。飘然快拂花梢,翠尾分开红影。 芳径。芹泥雨润。爱贴地争飞,竞夸轻俊。红楼归晚,看足柳昏花暝。应自栖香正稳,便忘了、天涯芳信。愁损翠黛双蛾,日日画阑独凭。

# 吴文英

吴文英,生卒年不详,字君特,号梦窗,晚号觉翁,四明(今浙江宁波)人。本姓翁氏,过继为吴氏后。终身坎坷,曳裾王门,久居苏、杭,足迹不出江浙。绍定五年(1232),为苏州仓台幕。淳祐十年(1250)前后,入吴潜幕。景定元年(1260)前后,为嗣荣王赵与芮门客。梦窗词曲折幽深,密丽隐晦。有《梦窗甲乙丙丁稿》四卷,存词三百四十余首,有近人杨铁夫笺释本,吴蓓汇校笺释本,孙虹校笺本。

## 唐多令

何处合成愁。离人心上秋。纵芭蕉、不雨也飕飕。都道晚凉天气好,有明月,怕登楼。 年事梦中休。花空烟水流。燕辞归,客尚淹留。垂柳不萦裙带住,漫长是、系行舟。

### 浣溪沙

门隔花深梦旧游。夕阳无语燕归愁。玉纤香动小帘钩。 落絮无声春堕 泪,行云有影月含羞。东风临夜冷于秋。

### 风入松

听风听雨过清明, 愁草瘗花铭。楼前绿暗分携路, 一丝柳、一寸柔情。料峭春寒中酒, 交加晓梦啼莺。 西园日日扫林亭, 依旧赏新晴。黄蜂频扑秋千索, 有当时、纤手香凝。惆怅双鸳不到, 幽阶一夜苔生。

[瘗花铭]: 瘗, 埋葬。庾信有《瘗花铭》。

### 莺啼序

残寒正欺病酒,掩沉香绣户。燕来晚、飞入西城,似说春事迟暮。画船载、清明过却,晴烟冉冉吴宫树。念羁情、游荡随风,化为轻絮。 十载西湖,傍柳系马,趁娇尘软雾。溯红渐招入仙溪,锦儿偷寄幽素。倚银屏、春宽梦窄,断红湿、歌纨金缕。暝堤空,轻把斜阳,总还鸥鹭。 幽兰旋老,杜若还生,水乡尚寄旅。别后访、六桥无信,事往花委,瘗玉埋香,几番风雨。长波妒盼,遥山羞黛,渔灯分影春江宿。记当时、短楫桃根渡。青楼仿佛,临分败壁题诗,泪墨惨淡尘土。 危亭望极,草色天涯,叹鬓侵半苎。暗点检、离痕欢唾,尚染鲛绡,亸凤迷归,破鸾慵舞。殷勤待写,书中长恨,蓝霞辽海沉过雁,漫相思、弹入哀筝柱。伤心千里江南,怨曲重招,断魂在否。

### 霜叶飞

#### 重九

[荐]: 插花。

[噀]:含在口中后喷出。

[蛮素]:白居易尝有赠姬诗句云:"樊素樱桃口,杨柳小蛮腰。"后世遂以蛮素代指歌舞伎。

[翠微]: 青山。

## 八声甘州

#### 陪庾幕诸公游灵岩

渺空烟四远,是何年、青天坠长星。幻苍崖云树,名娃金屋,残霸宫城。箭径酸风射眼,腻水染花腥。时靸双鸳响,廊叶秋声。 宫里吴王沉醉,倩 五湖倦客,独钓醒醒。问苍波无语,华发奈山青。水涵空、阑干高处,送乱鸦、斜日落渔汀。连呼酒,上琴台去,秋与云平。

[时靱双鸳响]: 靸,拖鞋。双鸳,代指女子之鞋。此句即云穿着拖鞋女子走过的声音,因古人多以木屐为拖鞋,故走路时会有声响。

# 刘辰翁

刘辰翁(1232-1297),字会孟,吉州庐陵(今江西吉安)人。宝祐六年(1258)贡于乡,曾于对策中暗讽时相丁大全。景定三年(1262)应进士举,廷试对策触犯权相贯似道,被置于丙第。以亲老,从教于赣州濂溪书院。恭帝德祐元年(1275),文天祥起兵勤王,刘辰翁短期参与幕府。宋亡,托迹方外,隐遁不出,于故乡庐陵山中专事著述。词集《须溪词》三卷,存词三百余首,有今人吴企明笺注本。

## 柳梢青

#### 春感

铁马蒙毡,银花洒泪,春入愁城。笛里番腔,街头戏鼓,不是歌声。 那堪独坐青灯。想故国、高台月明。辇下风光,山中岁月,海上心情。

[海上心情]:有如苏武牧羊于北海之上的心情。

### 永遇乐

余自乙亥上元诵李易安《永遇乐》,为之涕下。今三年矣,每闻此词,辄不自堪。遂依其声,又托之易安自喻。虽辞情不及,而悲苦过之。

壁月初晴,黛云远澹,春事谁主。禁苑娇寒,湖堤倦暖,前度遽如 许。香尘暗陌,华灯明昼,长是懒携手去。谁知道,断烟禁夜,满城似愁风雨。 宣和旧日,临安南渡,芳景犹自如故。缃帙流离,风鬟三五,能赋词最苦。江南无路,鄜州今夜,此苦又谁知否。空相对,残釭无寐,满村社鼓。

### 贺新郎

闻杜鹃

少日都门路。听长亭、青山落日,不如归去。十八年间来往断,白首人间千古。又惊觉、五更一句。道是流离蜀天子,甚当初、一似吴儿语。臣再拜,泪如雨。 画堂客馆真无数。记画桥、黄竹歌声,桃花前度。风雨断魂苏季子,春梦家山何处。谁不愿、封侯万户。寂寞江南轮四角,问长安、道上无人住。啼尽血,向谁诉。

## 周密

周密(1232-1298),字公谨,号草窗,又号蘋洲、弁阳老人。其先济南人,故自署齐人、华不注山人等。曾祖周秘扈从高宗南渡,卜居吴兴,遂占籍焉。周密少肄业太学,理宗景定二年(1261),入临安知府马光祖幕。后往来吴兴、临安之间,出入贵家园林雅集。端宗景炎元年(1276),杭州为元兵攻陷,吴兴故宅亦破,遂终身寓杭之癸辛街,抗节特立,称著于时。以故国文献自任,编著笔记多种。亦擅诗,有《草窗韵语》六卷。尤工于倚声,曾拜于著名词人杨缵门下,有词集《蘋洲渔笛谱》二卷、《草窗词》二卷,存词一百六十余首。又于宋亡后编选《绝妙好词》七卷,选录宋室南渡后张孝祥至遗民仇远之词。诸多江湖词人、赖此而传。

# 木兰花慢

柳浪闻莺

晴空摇翠浪,画禽静、霁烟收。听暗柳啼莺,新簧弄巧,如度秦讴。谁绸。 翠丝万缕,飏金梭、宛转织芳愁。风袅余音甚处,絮花三月宫沟。 扁 舟。缆系轻柔。沙路远、倦追游。望断桥斜日,蛮腰竞舞,苏小墙头。偏忧。杜鹃唤去,镇绵蛮、竟日挽春留。啼觉琼疏午梦,翠丸惊度西楼。

「谁紬」: 犹言是谁抽出。

[绵蛮]:黄莺。

[琼疏]:精美的窗子。

[翠丸]:青梅。

## 玉京秋

长安独客,又见西风,素月丹枫,凄然其为秋也,因调夹钟羽一解。烟水阔。高林弄残照,晚蜩凄切。碧碪度韵,银床飘叶。衣湿桐阴露冷,采凉花、时赋秋雪。叹轻别。一襟幽事,砌蛩能说。 客思吟商还怯。怨歌长、琼壶暗缺。翠扇恩疏,红衣香褪,翻成消歇。玉骨西风,恨最恨、闲却新凉时节。楚箫咽,谁倚西楼淡月。

## 一萼红

#### 登蓬莱阁有感

步深幽。正云黄天淡,雪意未全休。鉴曲寒沙,茂林烟草,俯仰千古悠悠。 岁华晚、漂零渐远,谁念我、同载五湖舟。磴古松斜,崖阴苔老,一片清 愁。 回首天涯归梦,几魂飞西浦,泪洒东州。故国山川,故园心眼,还 似王粲登楼。最怜他、秦鬟妆镜,好江山、何事此时游。为唤狂吟老监,共 赋销忧。

# 文天祥

文天祥(1236-1283),初名云孙,字天祥,以字行,改字履善,又字宋瑞,号文山,吉水(今江西吉安)人。理宗宝祐四年(1256)状元及第,授签书宁海军节度判官。时蒙古攻鄂州,宦官董宋臣主张迁都,文天祥上书请斩之,以安人心。咸淳六年(1270),除军器监,寻兼崇政殿说书,又兼学士院权直。因忤贾似道,罢归家居。德祐元年(1275),闻元兵东下,于赣州尽出家资募义军,入卫临安。是年底,签书枢密院事,次年拜右丞相兼枢密使。辞相印不拜,使至元军请和,被扣留北去,至镇江得脱。历尽艰

险,辗转至通州,由海路南下,坚持抗元。元至元十六年(1279),于广东海丰兵败被俘,押解大都,囚禁数年,坚贞不屈,十九年遇害于柴市。《宋史》卷四一八有传。词存七首。

### 酹江月

乾坤能大,算蛟龙、元不是池中物。风雨牢愁无着处,那更寒虫四壁。横槊题诗,登楼作赋,万事空中雪。江流如此,方来还有英杰。 堪笑一叶漂零,重来淮水,正凉风新发。镜里朱颜都变尽,只有丹心难灭。去去龙沙,江山回首,一线青如发。故人应念,杜鹃枝上残月。

## 王沂孙

王沂孙(1240?-1310?),字圣与,号碧山、中仙、玉笥山人。会稽(今浙江绍兴)人。宋亡后曾出任庆元路学正,未几即辞官归隐。词多咏物,寄托遥深。有《花外集》,又名《碧山乐府》,存词六十余首,有今人吴则虞笺注本。

#### 眉妩

#### 新月

渐新痕悬柳,淡彩穿花,依约破初暝。便有团圆意,深深拜、相逢谁在香径。画眉未稳,料素娥、犹带离恨。最堪爱、一曲银钩小,宝帘挂秋冷。 千古盈亏休问。叹谩磨玉斧,难补金镜。太液池犹在,凄凉处、何人重赋清景。故山夜永,试待他、窥户端正。看云外山河,还老尽、桂花影。

# 齐天乐

蝉

一襟余恨宫魂断,年年翠阴庭树。乍咽凉柯,还移暗叶,重把离愁深诉。西窗过雨。怪瑶佩流空,玉筝调柱。镜暗妆残,为谁娇鬓尚如许。 铜仙铅

泪似洗, 叹携盘去远, 难贮零露。病翼惊秋, 枯形阅世, 消得斜阳几度。余音更苦。甚独抱清高, 顿成凄楚。谩想薰风, 柳丝千万缕。

## 蒋捷

蒋捷,生卒年不详,字胜欲,号竹山,阳羡(今江苏宜兴)人。先世 为宜兴巨族。咸淳十年(1274)登进士第。宋亡后,遁迹不仕。元大德间, 宪使臧梦解、陆垕交章荐其才,卒不就。有《竹山词》一卷,存词百余首。

### 贺新郎

#### 兵后寓吴

深阁帘垂绣。记家人、软语灯边,笑涡红透。万叠城头哀怨角,吹落霜花满袖。影厮伴、东奔西走。望断乡关知何处,羡寒鸦、到着黄昏后。一点点,归杨柳。 相看只有山如旧。叹浮云、本是无心,也成苍狗。明日枯荷包冷饭,又过前头小阜。趁未发、且尝村酒。醉探枵囊毛锥在,问邻翁、要写牛经否。翁不应,但摇手。

## 女冠子

#### 元夕

惠花香也。雪晴池馆如画。春风飞到,宝钗楼上,一片笙箫,琉璃光射。而今灯漫挂。不是暗尘明月,那时元夜。况年来,心懒意怯,羞与蛾儿争耍。 江城人悄初更打。问繁华谁解,再向天公借。剔残红灺。但梦里隐隐,钿车罗帕。吴笺银粉砑。待把旧家风景,写成闲话。笑绿鬟邻女,倚窗犹唱,夕阳西下。

# 梅花引

#### 荆溪阻雪

白鸥问我泊孤舟。是身留。是心留。心若留时,何事锁眉头。风拍小帘灯晕舞,对闲影,冷清清,忆旧游。 旧游旧游今在不。花外楼。柳下舟。梦

也梦也梦不到,寒水空流。漠漠黄云,湿透木棉裘。都道无人愁似我,今夜雪,有梅花,似我愁。

## 一剪梅

#### 舟过吴江

一片春愁待酒浇。江上舟摇。楼上帘招。秋娘度与泰娘桥。风又飘飘。雨又萧萧。 何日归家洗客袍。银字笙调。心字香烧。流光容易把人抛。红了樱桃。绿了芭蕉。

## 虞美人

#### 听雨

少年听雨歌楼上。红烛昏罗帐。壮年听雨客舟中。江阔云低、断雁叫 西风。 而今听雨僧庐下。鬓已星星也。悲欢离合总无情。一任阶前、点 滴到天明。

### 少年游

枫林红透晚烟青。客思满鸥汀。二十年来,无家种竹,犹借竹为名。 春 风未了秋风到,老去万缘轻。只把平生,闲吟闲咏,谱作棹歌声。

# 张炎

张炎(1248—1320?),字叔夏,号玉田,晚号乐笑翁。居临安,祖籍西秦(今陕西凤翔)。出身名宦之家,为循王张俊六世孙。曾祖张镃、父张枢均精通音律,善为歌词。生平以二十九岁时(1276)元军攻陷临安为转折,前期生活优裕,歌酒欢赏;后期落拓江湖,与词社遗民交往唱和。元至元二十七年(1290),曾北上大都,写金字藏经。次年南归。词风清婉蕴藉,又多抒亡国之恨,哀怨凄楚。词集名《山中白云》(亦题《山中白云词》《玉田词》),存词约三百首,有今人黄畲笺校本,孙虹笺注本。

#### 南浦

#### 春水

波暖绿粼粼,燕飞来、好是苏堤才晓。鱼没浪痕圆,流红去、翻笑东风难扫。荒桥断浦,柳阴撑出扁舟小。回首池塘青欲遍,绝似梦中芳草。 和云流出空山,甚年年净洗,花香不了。新绿乍生时,孤村路,犹忆那回曾到。余情渺渺。茂林觞咏如今悄。前度刘郎归去后,溪上碧桃多少。

### 高阳台

#### 西湖春感

接叶巢莺,平波卷絮,断桥斜日归船。能几番游,看花又是明年。东风且伴蔷薇住,到蔷薇、春已堪怜。更凄然,万绿西泠,一抹荒烟。 当年燕子知何处,但苔深韦曲,草暗斜川。见说新愁,如今也到鸥边。无心再续笙歌梦,掩重门、浅醉闲眠。莫开帘,怕见飞花,怕听啼鹃。

### 解连环

#### 孤雁

楚江空晚。怅离群万里,恍然惊散。自顾影、欲下寒塘,正沙净草枯,水平天远。写不成书,只寄得、相思一点。料因循误了,残毡拥雪,故人心眼。 谁怜旅愁荏苒。谩长门夜悄,锦筝弹怨。想伴侣、犹宿芦花,也曾念春前,去程应转。暮雨相呼,怕蓦地、玉关重见。未羞他、双燕归来,画帘半卷。

#### 清平乐

候蛩凄断。人语西风岸。月落沙平江似练。望尽芦花无雁。 暗教愁损兰成。可怜夜夜关情。只有一枝梧叶,不知多少秋声。

# 无名氏

### 九张机

四张机。鸳鸯织就欲双飞。可怜未老头先白,春波碧草,晓寒深处,相对浴红衣。

### 青玉案

钉鞋踏破祥符路。似白鹭、纷纷去。试盛幞头谁与度。八厢儿事,两员直殿,怀挟无藏处。 时辰报尽天将暮。把笔胡填备员句。试问闲愁知几许。两条脂烛,半盂馊饭,一阵黄昏雨。

[钉鞋]: 古时鞋底钉有钉子的雨鞋。

[试盡]:举子所用的文具盒。

[八厢儿事]:成群的士兵。

[直殿]: 军官。

[备员]: 犹言凑数。

## 水调歌头

[银艾]:银印和绿绶。汉制,吏秩比二千石以上皆银印绿绶。后泛指高官。

## 长相思

去年秋。今年秋。湖上人家乐复忧。西湖依旧流。 吴循州。贾循州。十 五年前一转头。人生放下休。

[湖上人家]: 指贾似道在西湖之畔的别墅。

[吴循州]:吴潜,南宋后期名臣,两任宰相,力主抗元。后被贾似道排挤,景定元年(1260)被贬循州(今广东惠阳)。景定三年,被贾似道派心腹刘宗申鸩杀。

[贾循州]: 贾似道,南宋晚期权相,为相二十余年。德祐元年 (1275),与元军战于安徽铜陵,大败,遂被贬循州,道中被监押 使臣所杀。

## 青玉案

年年社日停针线。怎忍见。双飞燕。今日江城春已半。一身犹在,乱山深处,寂寞溪桥畔。 春山著破谁针线。点点行行泪痕满。落日解鞍芳草岸。花无人戴,酒无人劝,醉也无人管。